

広報

うんぜん

5

2010

vol.55

地域の防人として、 決意を新たに

さきもり

4月18日、愛野運動公園で行われた、平成22年度雲仙市消防団新入団員訓練。新入団員など75人が、礼式訓練や放水訓練などを行い、消防団員としての基礎を学んだ。

平成22年度 施政方針 — 2~6

~もくじ~

平成22年度当初予算	7~9
うんぜんクリック（観光情報）	10~11
島原半島ジオパークを楽しむために	12
はびねす通信・長崎国体	13
うんぜんニュース	14~15
商店街活性化推進事業 ほか	16~17
雲仙じげもん便り	18~19
国保税の軽減・Eキャンレッジ通信	20
消費生活センターからのお知らせ	21

雲仙市国民健康保険の現状	22~23
人事異動・新規採用職員紹介	24~25
まちの話題	26~27
健康がいちばん	28~29
市からのお知らせ	30~31
情報コーナー	32~33
読者プレゼント	34
今月の税・ひとのうごき・休日在宅当番医ほか	35
男女共同参画・市長コラム	36



平成 22 年度 施政方針



時代に即応した基礎自治体、地域コミュニティへ

平成 22 年第 1 回定例市議会において、奥村市長が述べた「施政方針」を抜粋してお知らせします。

施政方針とは、市政運営の目指す方向性を示したものです。

合併 5 年目を迎える本市におきましても、少子高齢化や環境問題への対応をはじめ、基幹産業である農林水産業や観光業など、地域産業の振興、雇用対策等々、課せられた課題は山積しておりますが、地道な努力を続けることにより、活路を見いだしていかなければなりません。

平成 22 年度におきましても、市政運営の基本としております「雲仙市総合計画」の着実な実現に向け、引き続き「市民が主役」「市民総参加」を旨として、情報公開を進め、市民の皆さまの市政への参画を促進してまいりますとともに、自治体間競争に打ち勝ち、時代に即応した基礎自

治体、地域コミュニティの形を創りあげるため、市民の皆さまの暮らしを直接支える事業や将来の発展に向けて必要な事業等について、「選択と集中」のもと、スピード感を持って、積極的に実施する所存でございます。

1 みんなでつくるまちづくり

男女共同参画社会の

実現について

男女共同参画社会の実現に向けて、家庭、職場、地域等、あらゆる分野において「男女が互いを認め合い、尊重し、協力し

合うまち 雲仙市」をめざして、今後も男女共同参画を推進してまいります。

なお、「出前講座」や男女の対等な関係を築くための「DV・デートDV防止講座」について、引き続き実施するほか、平成 22 年度におきましては、男女共同参画週間行事として「男女共同参画標語・川柳」を募集するなど、男女共同参画の必要性をより多くの市民の皆さまに理解していただけるよう、推進してまいります。

地域の振興について

みんなでつくるまちづくりを推進するため、市民の皆さまが企画・提案から実施までを主体的に行い、市民の皆さまの審査により採択事業を決定する「市民提案事業」、地域の発展に資する地域活性化事業および人材育成事業等に対し支援を行う「地域づくり事業」、市内の地域資源を活かし、自ら考え実践し、自立した公益的な地域活動に対し積極的な支援を行う「地域自立活動創出事業」、および住民のコミュニティ活動を助成する「コミュニティ助成事業」などにより、平成 22 年度におきまし

ても、引き続き地域の皆さまの活動を支援してまいります。

また、本年度、総合的な視点から、地域の課題について市内 7 地域の地域審議会からいただきました提言につきましても、地域の皆さまの貴重なご意見を踏まえ、平成 22 年度の新規または拡充事業として、「農商工連携事業」や「商店街活性化推進事業」、「リサイクル推進事業」などの事業を平成 22 年度当初予算に計上いたしており、今後とも、雲仙市の均衡ある発展を目指し、地域の皆さまの声をできる限り市政に反映してまいります。



市民提案事業に採択された、子育てひろば「ぼっかばか」

2

快適で住みよい

暮らしづくり

地上デジタル放送に伴う

難視聴地区の解消について

地上アナログ放送は、平成23年7月24日までに終了し、デジタル放送に完全移行となります。

市といたしましては、テレビ放送の難視聴解消のため共同受信施設を設置している地域の組合に対し、地上デジタル放送を受信できるようにするために行う、施設の改修費用の一部について、平成22年度、国の補助制度を活用して助成を行うこととしております。

安心・安全の

まちづくりについて

昨今の消費者を取り巻く状況は、悪質な訪問販売や次々販売など高齢者や若者を狙った悪質商法の増加、さらには、架空請求や多重債務問題などといった、深刻な消費者被害が相次いでおり、消費生活相談窓口にはこうした数多くの相談が寄せられているところでございます。

こうした中、平成22年度におきましては、更なる消費生活相

談窓口の充実を図るため、本年4月に、「消費生活センター」を設置し、消費者行政の推進に努めてまいります。

また、火災や自然災害などに対処し、安心・安全なまちづくりを推進するため、実施してまいりました「防災行政無線統合整備事業」につきましては、当初計画より2年早い、平成22年度をもって、市内全域の整備を完了させます。



4月から「消費生活センター」を設置

循環型社会づくりの

推進について

地球温暖化による異常気象が問題となっている現在、本市における地球温暖化対策として、一般家庭などにおける太陽光発電施設の導入に対する助成事業を平成22年度に創設、より一層

のクリーンエネルギーの普及を推進し、併せて、「太陽・大地・水の恵みあふれるエネルギーを活かしたまちづくり」を基本方針とする、本市の新エネルギービジョンに基づき、平成22年度には、その中の一部の事業について、実施の可能性などを詳細に掘り下げて研究を進めてまいります。

交通網の整備について

地域交通網の骨格をなす市道路線につきましては、合併前からの継続事業44路線のうち31路線がすでに完了し、進捗率は80%程度に達しております。

平成22年度におきましても、年次計画に基づき、限られた事業費の中で最大の効果を得ることができるよう、地域の生活道路をはじめとして、48路線の道路改良を行うこととしております。

耐震・安心まちづくりについて

地震災害から市民の生命・財産を守るため、新耐震基準の施行前である昭和56年以前に建てられた建物を対象に、木造住宅の耐震診断の費用について助成をいたしておりますが、さらに平成22年度は、耐震基準に適合

していない木造住宅の改修計画作成にかかる費用および不特定多数の人が利用する旅館、ホテルなど民間の特定建築物の耐震診断にかかる費用の一部についても新たに助成を行い、建物の地震時の倒壊などによる被害の軽減を図り、安全なまちづくりを推進します。

3

笑顔いっぱい

健康と福祉づくり

健康な地域づくりについて

市民一人ひとりが、心身ともに健やかで安心した生活をおくることができるよう、平成22年度も引き続き、生活習慣病対策事業、心の健康づくり事業、地域医療の確保および感染症予防対策などに取り組んでまいります。

また、雲仙市人口の約28%を占める高齢者の皆さまがたの安全を図るため、平成22年度は、70歳以上のかたを対象に「肺炎球菌ワクチン」の接種にかかる費用の一部について、新規に助成を行うこととしております。

この予防接種は、インフルエンザ予防接種との併用により、肺炎の予防や重症化予防に大きな

効果があるといわれておりますので、インフルエンザ予防接種とあわせて、肺炎球菌ワクチンの接種についても、周知を行ってまいります。

地域福祉計画の策定について

近年、住民相互の社会的なつながりが希薄化し、相互扶助機能は弱体化するなど、地域社会が変容する中、安心で充実した生活が送れるような地域社会を基盤とした地域福祉の推進が求められております。

平成22年度におきましては、地域住民すべてで支える社会福祉の構築を目指し、「地域福祉計画」を策定いたします。

安心できる高齢社会の

実現について

高齢者ができるだけ要介護状態になることなく、健康で生きがいを持った生活を送ることができるよう、健康教育や健康相談を通して、介護予防や健康づくりに努めるとともに、高齢者の社会参加を促進するなど、高齢者の生きがい対策を推進してまいります。

また、高齢者のさまざまな相談に対して、相談体制をより充

実するため、「高齢者の悩み事・困りごと相談窓口」の設置に向け、保健・医療・福祉・介護の連携を図ってまいります。

さらに、一人暮らしや高齢者のみの世帯で援助が必要なかたの不安解消、安全確保、安否確認を目的とした「緊急通報体制整備事業」、配食サービスを行う「食の自立支援事業」、タクシー代の一部を助成する「高齢者交通費助成事業」や敬老会助成事業などの高齢者福祉事業にも引き続き取り組んでまいります。

4 力強い産業と仕事づくり

雲仙ブランドの確立と流通 対策について

『雲仙ブランド』の認定は17団体29品目、『うんぜん逸品』は21団体21品目が認定されておりますが、平成22年度につきましても引き続き、県内外をはじめ、首都圏や大都市圏でのPR活動を推進しながら、認知度アップと販路拡大に取り組んでまいります。

本年10月、福岡市に開設する予定の、佐世保市・長崎市との



新たに19品目を追加し、21品目となった「うんぜん逸品」

共同事業である「アンテナショップ」につきましては、雲仙市の情報発信および情報収集基地として最大限活用するとともに、雲仙市の安心で安全な農畜水産物や商工製品などの新たな販路開拓をはじめ、取引バイヤーとの販売ルートの確立を目指します。

また、首都圏や大都市圏への販路拡大につきましては、県物産流通推進本部との連携を強化し、可能な限り商談会や見本市に出展し、PR活動を行ってまいります。

次に、「雲仙市地産地消の店」につきましては、現在67店に加盟していただいておりますが、

平成22年度は、加盟店のメリットを最大限に生かせるようなキャンペーンを行い、さらに地元の生産物を地元で消費していただけるように努めてまいります。

農林水産業の振興について

平成22年度から実施される「米の戸別所得補償モデル事業」や「水田利活用自給力向上事業」が水田営農に大きく影響を及ぼすことが思量されますが、その推進に万全を期し、農家の所得向上に向けた取り組みを支援してまいります。

また、農林水産業の振興を目的に、「雲仙市農林水産ゆめみらい事業」につきましては、平成22年度から「雲仙市食のくづくり支援事業」として再構築を行い、「新規就農者対策」や「農家のスキルアップ対策」、「農地の維持・改善対策」、「産地競争に強い取り組み」を支援してまいります。

次に、畜産の振興につきましても、引き続き市内保留される雌子牛に対する支援および雲仙市内で生産された肥育素牛の導入に対する支援を行うことにより、「雲仙牛」のブランド化を推進するとともに、地域内肉用牛生



3月の「雲仙牛試食会」で提供された料理の数々

産農家の活性化と地域一貫生産体制の確立を図ってまいります。

なお、平成24年に本県において「第10回全国和牛能力共進会」が開催されますが、本年10月には、プレ全共として、「ながさき牛づくり振興大会」が雲仙市にございます「県南家畜市場」で開催されますので、関係機関と連携しながら、本大会の成功に向けて取り組みを進めてまいります。

次に、水産業の振興につきましては、稚魚稚貝の放流事業、後継者や担い手の育成・確保などを引き続き推進するとともに、水産物の安定的な水揚げと漁業者が安全に事業活動のできる基盤づくりを推進するため、

漁場、増殖場の整備を推進し、漁場環境の積極的な保全を図ってまいります。

企業誘致の推進と地場企業の育成および雇用の創出・拡大について

企業誘致につきましては、平成21年度まで、合計4企業が新たに雲仙市での事業展開を開始され、合わせて124人の新規雇用が達成されたところでございます。

企業の設備投資は非常に冷え込んでいる状況が続いておりますが、新たな投資機会ととらえる企業を発掘するため、本市独自の奨励金制度をはじめ、企業誘致のための優遇措置の充実を図りながら、食品加工製造業や機械・電気・電子部品製造業を中心に、積極的に企業側へアピールし、市内への企業誘致を実現してまいります。

一方、地場企業の育成につきましては、個人や中小企業を対象として、創業や経営改革にかかる経費を助成する「雲仙夢トライアル事業」を実施しており、平成22年度につきましても引き続き本事業を実施してまいります。

また、市内農林漁業者と中小企業者など、異業種間の連携に

よる新たな事業に対して支援するため、平成22年度に「農商工連携事業」を創設し、産業の活性化と新事業の展開による雇用の創出を図ってまいります。

さらに、現下の雇用情勢の悪化に対処するための緊急的な対策として、市内在住者の雇用拡大を行う市内事業者に対して奨励金の助成を行う、「緊急雇用拡大奨励金支給事業」を創設し、雇用の拡大と市内への定住促進、並びに障がいのあるかたや中高年齢者の雇用増大を図ってまいります。

商工業支援対策および振興対策について

厳しい経済情勢を市内商工業者に乗り切っていただくため、年末から年度末にかけての資金繰り対策として、新たに融資枠5億円の「雲仙市中小企業経営緊急安定化対策資金」を創設したところでございます。

また、商工業振興対策といたしまして、平成22年度に「商店街活性化推進事業」を創設し、空き店舗の活用にかかる家賃、改装費およびイベントなどへの助成を行い、商店街をはじめとした商工振興を図ってまいります。

5 新しい観光・交流による活力づくり

地域資源を活かした観光の振興について

世界的な景気低迷、急激な円高、新型インフルエンザなどのマイナス要因が重なった観光業界では、観光客の旅行控えや旅行単価の低下が加速度的に進み、本市の観光関係業者に大きな打撃を与えている現状でございます。

平成22年度も厳しい状況は続くものと思われませんが、国も「雇用問題」「環境問題」と同様に、「観光問題」も重点課題として捉えておりますので、市としてもタイムリーな時期にタイムリーな施策を講じ、積極果敢に取組んでまいります。

具体的には、島原半島ジオパークの世界ジオパーク認定を機に、島原市、南島原市との連携を更に強め、半島全体の宣伝活動などを行ってまいります。さらに、国交省より指定を受けました「雲仙天草観光圏整備事業」につきましても、平成22年度から事業が動き出しますが、市といたしまして、このジオパー

クや観光圏整備事業を積極的に支援し、宿泊客の増加に努めてまいります。

また、福岡市に開設するアンテナショップを基軸に、九州一円の観光客誘致や物産と連動した首都圏・大都市圏からの観光客誘致にも努力してまいります。

次に、外国人観光客の誘致につきましましては、県や県観光連盟との連携を深め、現地での誘致活動にも積極的に参加をして、雲仙市をアピールしてまいりますとともに、修学旅行の誘致につきましましては、主に沖縄・関西・関東の中学校や高校を訪問し、昨年創設しました「修学旅行誘致促進事業補助金制度」の周知を図るとともに、体験学習やジョツアーなどを売り込み、誘致につなげていきたいと考えております。

6 明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり

健やかな子育て対策について

だれもが安心して子どもを産み、育てられる環境をつくり、また、子どもたちの健やかな成長を支援していくために、平成



子育てサポートセンターの様子

22年度におきまして、育児に自信がなく孤立している母親たちの仲間づくりや地域における子育て力を育み、コミュニティの活性化を図るため、新たに「すこやか親育ちサポート事業」に取り組んでまいります。

また、共働き家庭の子育て支援として、子育てサポートセンターにおいて援助活動ができるよう、協力会員の資質向上を図る「病児・病後児預かり等促進事業」も実施いたします。

さらに、平成22年度に創設されます「子ども手当」により、中学校修了までの児童を対象に、1人につき月額1万3千円を支給し、子育てにかかる経済的な負担の軽減を図り、子育て支援を推進してまいります。

次に、母子保健事業におきましては、健やかな成長の手助け

として、赤ちゃん健康相談、乳幼児健診、歯科保健事業、予防接種事業の充実を図るとともに、平成22年度から、髄膜炎・敗血症・肺炎などの重篤な感染症を予防するため、「ヒブワクチン予防接種」を新たに実施してまいります。

スクールサポーターおよび児童生徒サポートセンターについて

市内小中学校28校への学習支援および読書活動推進支援を目的に、スクールサポーターを1名ずつ配置しておりますが、平成22年度は、更に3人を増員し、子どもたちをとりまく課題や子どもが発する「サイン」の早期発見に努め、子どもたちの心の安定や学習意欲の向上、ならびに読書習慣の確立など、支援の一層の充実に努めてまいりたいと考えております。

また、心理的・情緒的原因などにより登校できない児童生徒の学校復帰を目指し、平成22年度の新規の取り組みとして、学校教育課に「児童生徒サポートセンター」としての機能を付加し、センター事業を推進する「児童生徒サポーター（訪問指導員）」を配置いたします。

この児童生徒サポーターは、学校や外部機関との連携を図りながら、個別の訪問指導など直接的な支援を通して、自宅での引きこもりなどの解消に向けた取り組みを進めてまいります。

雲仙市陸上競技場の建設について

雲仙市陸上競技場の建設につきましては、子どもからお年寄りまでの生涯スポーツの振興をはじめ、健康づくりや各種交流の拠点施設として、また、小中学生の競技会はもとより市民の各種スポーツ大会の開催など、利便性を勘案し、何らかの施設を造るべく検討を続けておりました。

今回、平成26年に開催される第69回長崎国体におけるサッカー競技の会場としても活用できれば、国体の開催のみに支援される県からの施設整備補助金などを施設の建設財源として充当できることから、陸上競技場の建設を計画したところでございます。

ただ、この施設の建設につきましましては、諸々の議論があり、現在基本設計について、市民皆さまのご意見をお伺いしているところであります。

平成22年度 当初予算

総額

367億910万2千円

※水道事業会計(企業会計)を除く

平成22年度 当初予算編成 基本理念

- ①総合計画に基づく、効果的・効率的な予算編成
- ②常に経営感覚を持った予算編成
- ③地域等全エリアの視点に立ったバランスの取れた予算編成
- ④縦割り行政といわれることのない、常に横(部局間)の連携を図った予算編成

○一般会計・特別会計○

一般会計	259億2,654万 円
国民健康保険特別会計	75億2,367万2千円
老人保健特別会計	103万7千円
後期高齢者医療特別会計	4億4,279万9千円
簡易水道事業特別会計	9億4,959万4千円
下水道事業特別会計	14億5,900万9千円
と畜場特別会計	2億 384万2千円
国民宿舎事業特別会計	1億9,194万7千円
温泉浴場事業特別会計	1,066万2千円
合 計	367億 910万2千円

平成22年度当初予算が雲仙市議会2月定例会で可決されましたのでお知らせします。

平成22年度の予算編成は、昨年度に引き続き、「総合計画特別推進枠の設定」「ゼロ予算事業の実施」「選択と集中」の3項目を掲げ、総合計画の実現を推進します。

〔一般会計歳入〕

前年度と比較すると2・6%の増となっています。市税は、昨今の景気低迷の影響に伴う給与所得および営業所得などの減収見込みによる市民税の減はあるものの、子ども手当の創設などにより、国庫支出金や県支出金は増となっています。そのほか、財源不足を補うた

め、財政調整基金および減債基金を合わせて14億円取り崩すこととしています。

〔一般会計歳出〕

福祉などにかかる経費(民生費)については、子ども手当などによる12%の増、環境対策や予防接種などにかかる経費(衛生費)は、15・4%の増となっています。さらに、雇用促進を図るため、農林水産業費や商工費も増となっており、新たな事業の創出を目指し、地域経済の活性化に努めます。

○水道事業会計(企業会計)○

収 入	3億7,102万7千円
収益的収入	3億6,885万4千円
資本的収入	217万3千円
支 出	5億6,883万2千円
収益的支出	3億5,753万5千円
資本的支出	2億1,129万7千円

市の予算は額が大きいので、
市民1人あたりの額※に換算してみると…

○市民1人あたりに使われるお金

74万8,478円

【内訳】

○特別会計(21万9,850円)

国民健康保険特別会計	15万3,404円
老人保健特別会計	21円
後期高齢者医療特別会計	9,028円
簡易水道事業特別会計	1万9,362円
下水道事業特別会計	2万9,748円
と畜場特別会計	4,156円
国民宿舎事業特別会計	3,914円
温泉浴場事業特別会計	217円

※市民1人あたりの額とは、当初予算総額(水道事業会計(企業会計)を除く)を平成22年3月末現在の住民基本台帳人口(49,045人)で割った金額です。

○一般会計(52万8,628円)

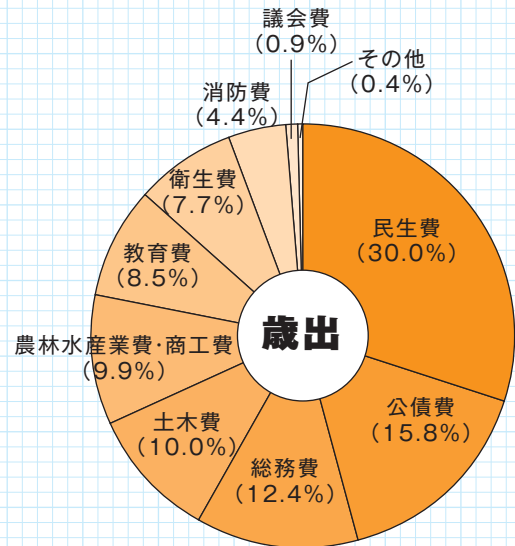
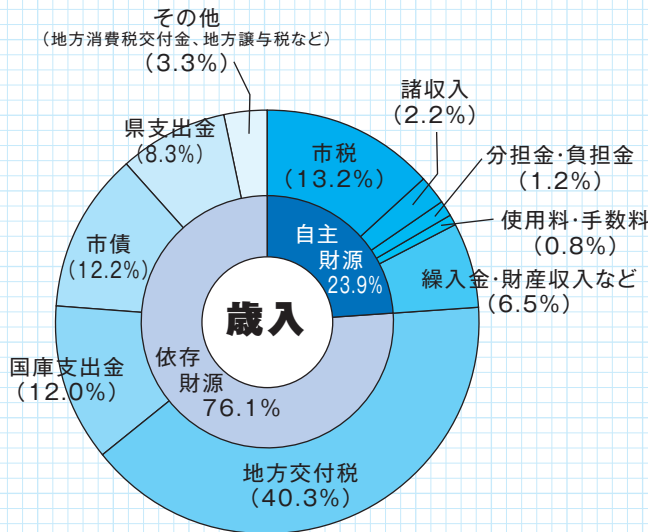
【民生費】 15万8,710円 	【総務費】 6万5,671円 	【公債費】 8万3,440円 
【土木費】 5万2,999円 	【教育費】 4万5,172円 	【農林水産業・商工費】 5万2,423円 
【衛生費】 4万530円 	【消防費】 2万3,271円 	【議会費ほか】 6,412円 

一般会計

総額

259億2,654万円

対前年度比
6億5,201万2千円(2.6%)



歳入

○市税	34億2,368万7千円
○地方譲与税	3億 111万5千円
○利子割交付金	1,762万9千円
○配当割交付金	175万1千円
○株式等譲渡所得割交付金	64万5千円
○地方消費税交付金	4億1,282万8千円
○ゴルフ場利用税交付金	1,099万 円
○自動車取得税交付金	6,174万4千円
○地方特例交付金	4,244万3千円
○地方交付税	104億4,082万4千円
○交通安全対策特別交付金	653万7千円
○分担金及び負担金	3億1,938万7千円
○使用料及び手数料	2億1,607万4千円
○国庫支出金	31億 877万2千円
○県支出金	21億5,247万 円
○財産収入	9,564万4千円
○寄附金	60万2千円
○繰入金	14億2,604万1千円
○繰越金	1億5,000万 円
○諸収入	5億7,375万7千円
○市債	31億6,360万 円

歳出

○議会費	2億2,644万4千円
○総務費	32億2,082万6千円
○民生費	77億8,392万6千円
○衛生費	19億8,782万1千円
○労働費	1,040万3千円
○農林水産業費	17億8,277万9千円
○商工費	7億8,829万 円
○土木費	25億9,933万5千円
○消防費	11億4,130万5千円
○教育費	22億1,547万4千円
○災害復旧費	5,763万5千円
○公債費	40億9,230万2千円
○予備費	2,000万 円

特別 会計

総額

107億8,256万2千円

対前年度比
△4億4,043万3千円(△3.9%)

下水道事業特別会計

14億5,900万9千円 対前年度比
△3億9,957万4千円(△21.5%)

国の支出金や使用料金、一般会計からの繰入金などを財源として、下水道施設の整備や維持管理を行います。



国民健康保険特別会計

75億2,367万2千円 対前年度比
△1億4,355万5千円(△1.9%)

国民健康保険税や国・県の支出金などを財源として、被保険者の医療費を支払ったり、各種保健事業を行います。



と畜場特別会計

2億384万2千円 対前年度比
△10万6千円(△0.1%)

と畜場使用料などの事業収入を主な財源として、雲仙市食肉センターの管理運営を行います。



老人保健特別会計

103万7千円 対前年度比
△3,598万9千円(△97.2%)

国・県の支出金などを財源として、老人保健医療費の遡及分を支払うための予算を計上しています。



国民宿舎事業特別会計

1億9,194万7千円 対前年度比
2,320万8千円(13.8%)

宿泊料や休憩料などの利用料を主な財源として、国民宿舎「望洋荘」の管理運営を行います。



後期高齢者医療特別会計

4億4,279万9千円 対前年度比
320万9千円(0.7%)

被保険者が納付する保険料や一般会計からの繰入金などを財源に、広域連合へ納付金を支払います。



温泉浴場事業特別会計

1,066万2千円 対前年度比
△10万1千円(△0.9%)

温泉浴場使用料を主な財源として、市営共同温泉浴場「浜の湯」の管理運営を行います。



簡易水道事業特別会計

9億4,959万4千円 対前年度比
1億1,247万5千円(13.4%)

水道料金や市債、一般会計からの繰入金などを財源として、水道施設の整備や維持管理を行います。



雲仙市へ、修学旅行に来てみんな!

雲仙市への教育旅行の誘

客促進を図るため、3月10
から12日までの3日間、関西
地区主要教育旅行担当者19
人を招き、雲仙市における
体験型教育旅行の魅力をも
感してもらいました。

今回は、関西地区の中学
校、高等学校に対し、テーマ
性があり、教育効果の高い教
育旅行コースを提案してもら
うために実施。世界ジオパー
クをテーマとした地質・環境
学習プログラムの体験や小浜
町富津港のイカダでの釣り
体験、瑞穂町での酪農体験、
宿泊施設の視察などを行いま
した。

市では、継続的に誘致活
動を展開していきます。



市内の特産物が大人気

3月19日から22日、夢彩
都において、雲仙市物産フェ
アが行われました。市内か
ら15業者が出店し、多くの
人でにぎわいました。

観櫻火宴の鎧着付け体験
や畑のミュージシャン中村
惣さんのミニコンサートも
人気。会場には、物産フェア
目当てのお客さまも数多く
いらつしやいました。



“愛”の聖地が新しく

新しくなった愛野駅が、
3月14日にお披露目されま
した。



湯の恵みに感謝

小浜温泉湯まつりが4月
4日に行われました。



満開の桜を照らす、松明の炎

3月27日午後6時から、
満開の桜の下、恒例の「観櫻
火宴」が千々石町橘公園に
おいて開かれました。
「日本一の松明武者行列」
として定着したこのお祭を
一目見ようと、会場は大盛
況。松明に照らされた桜も
美しく、東京から来た2人
の女性も、「とてもきれいで
感動しました。来年また来
ます」と話していました。



ご当地グルメで大満足 ♪

4月4日小浜マリンパー
クにおいて、第1回長崎県
ご当地グルメフェスティバ
ルが開かれました。地元小
浜ちゃんぽんをはじめ、大
村あま辛黒カレーや島原手
延そうめんなどのグルメが
並び、会場は大にぎわい。日
本一の足湯（ほつとふつと
105）を訪れたお客さま
も多く、お腹も体も大満足
の一日となりました。



夜空を飾る華

第23回全九州花火師競技
大会が、4月4日に小浜港
で行われ、多くの来場者で
にぎわいました。



決定！雲仙市観光大使

平成22年度（3代目）の雲仙市観光大使が決定し、お披露目されました。3人はこれから1年間、市内外のイベントなどで、雲仙市の「顔」として、市の魅力を伝えていきます。



（左から）坂上美保さん、一山和美さん、岩永春奈さん

おいしいジャガイモ、掘ってみませんか？

おばまじゃがいも掘り体験ツアー

家族や友だちと「ジャガイモ掘り」を体験してみませんか。

地元農家手作りのジャガイモ料理
食べ放題や小浜温泉入浴券など、特典
もいっぱい。ご家族で、グループで、ぜ
ひご参加ください。



日時：5月16日（日）午前10時30分～

場所：小浜町山畑地区ほ場

問い合わせ

小浜総合支所 産業建設課

（☎74-2111）

宝くじの購入は、県内で！

宝くじの収益金は、都道府県の販売額などに応じて分配され、道路や橋、学校、公園の整備など、県内のいろいろな事業に使われています。

今年の秋、福岡市に開設する「佐世保・雲仙・長崎アンテナショップ」では、その実施計画の策定や試験販売、PRについて、全国自治宝くじの助成金を受けて実施しました。

宝くじの県内での購入に、ご協力ください。



島原半島ジオパークを楽しむために

テーマ⑤歴史・民話
昔話が伝える大地の恵み

今まで5回にわたって、島原半島ジオパークの見どころを紹介してきました。最終回は、民話の中に伝わるジオパークです。

山の三太郎

「むかしむかし、雲仙岳は、帯山（おびやま）と呼ばれる大きな火山でした。何度も大きな爆発をくり返して、そのたびにまっ赤に焼けた溶岩を吹き出すのです」というくんだりではじまる「山の三太郎」は、雲仙火山の中でも過去数万年以降に形成された山（普賢岳、妙見岳、国見岳）の地形を、「火土が淵」にすむおしゃべり好きなカップパにたとえた、こっけいな昔話です。私たちの先祖様には、近接した3つの山が、仲の良い友だち同士に見えたのかもしれないね。

みそ五郎どん

「昔むかし、西有家で一番高い高岩山に大きな男が住んでおった。この大男、人が良く、ちから持ちでだれやかれやから好かれておったそつな」



毎年11月の初頭に、南島原市で開催される大きなお祭りの名前にもなっている「みそ五郎どん」は、雲仙火山の中でも古い溶岩ドームである高岩山付近の地形や有明海に浮かぶ湯島、島原半島の南部に見られる赤い土が登場する物語です。島原半島の自然が大好きな、気の優しい力持ちの大男は、昔も今も私たちに愛されています。

竜女おすわ

「そのむかしむかし、島原の古城下に、杏庵（きょうあん）という若い医者がいました」ではじまるこのお話。諏訪の池の近くでいじめられていた大きな白蛇を助けた医者が、不思議な美女と出会うこの物語は、約200年前に起こった寛政の噴火をきっかけに作

られた昔話です。寛政の噴火時には、「竜女おすわ」のほかにもたくさんさんの昔話が作られ、山の噴火の様子や当時の災害の状況を今に伝えています。

多くの唄にも登場する島原半島

島原半島の美しい自然や大地の恵みは、多くの唄にも歌われています。普賢岳、国見岳、妙見岳の山並みの美しさを歌った「島原本挽き唄」、豊富な海の幸を採る漁の情景や小浜温泉が登場する「おなよい節」などの民謡からは、人々が大地の恵みに感謝し、尊ぶ様子が伝わってきます。

このように、私たちの周りにはジオの恵みがあふれています。先人達はそのかけがえのない恵みや感謝の気持ち、数多くの民謡や民謡に変えて我々に伝えてくれているのです。これらに触れ、今一度、身の回りのジオの恵みを再発見してみたいかがでしうか。

島原半島ジオパークキャラクターが決定

昨年末から募集を行っていた「島原半島ジオパークキャラクター」の最優秀賞1点と優秀賞2点が決定しました。応募総数 205 点の作品に対し、厳正に審査を行った結果、次のとおり決定しました。

【最優秀賞】 信貴 正明様(新潟県燕市)
【優秀賞】 前田 昌克様(大阪府大阪市)
塩崎 エイチ様(大阪府大阪市)

今後、島原半島ジオパークのロゴマークとともに、島原半島ジオパークをPRしていきますので、よろしく願いいたします。



男女共同参画懇話会委員を募集します

男女共同参画についての市民皆さまのご意見を聴くために、雲仙市男女共同参画懇話会の委員を募集します。男女が個性や能力を十分に発揮することができ、男女共同参画社会・まちづくりのため、あなたのご意見をお聴かせください。

【委員の役割】

年3回程度開催予定（主に平日）の懇話会に出席し、男女共同参画社会の実現に向けて話し合い、2年間かけて次期計画策定のための意見を取りまとめて、市長に提言します。

【委員謝礼】

1回（3時間程度）の会議出席につき、5千円

（別途、交通費支給）

【任期】2年

平成22年8月～平成24年7月

【募集人員】2人程度

【応募資格】

次のすべてを満たす人

- ①雲仙市に住所があり、実際に住んでいる満20歳以上の人
- ②雲仙市の職員、市議会議員でない人

- ③平日の会議に出席できる人
- ④男女共同参画社会の実現について熱意がある人

【応募方法】

雲仙市政策企画課・各総合支所に備え付けの「雲仙市男女共同参画懇話会委員応募用紙」に必要事項を記入のうえ、持参していただくか、郵便、FAXまたは電子メールにて提出してください。なお、提出書類はお返しできません。

※応募用紙は、雲仙市ホームページからダウンロードできます。

【応募締切】

5月28日（金）※当日消印有効

【選考方法】

提出いただいた書類により応募資格などについて審査し、応募者多数の場合は、選考により決定します。選考結果については、応募者全員に連絡します。

【提出先】

〒859-1107

雲仙市吾妻町牛口名714番地
雲仙市役所 政策企画課

（雲仙市男女共同参画センター）

FAX 0957(38)3514

電子メールアドレス

danjo@city.unzen.nagasaki.jp

男女共同参画出前講座

受講者 随時 募集中！

☎ 雲仙市男女共同参画センター（政策企画課内） ☎38-3111

45年ぶりに、長崎県で国体が開催されます

平成26年 長崎国体

君の夢 はばたけ今 ながさきから
長崎がんばらんば国体

第69回国民体育大会

■開催時期 / 平成26年9月中旬～10月中旬（この期間の11日間）

■雲仙市開催種目 / サッカー競技（少年男子）、ボクシング競技（全種目）

雲仙アヅマクロスが、長崎国体の
デモンストレーションスポーツ行事に選定されました

デモンストレーションスポーツ行事とは…

正式競技とは別に、国体開催県において広く親しまれているもの、または今後普及する見込みがあるスポーツを行うものです。県内に居住する子どもからお年寄りまでの幅広い年齢層を対象とし、国体開催期間中に各市町において実施されます。

雲仙アヅマクロスとは…

雲仙市体育指導委員会で考案したオリジナルの軽スポーツで、バドミントンコート2面分を高さ2メートルのネットで十字に仕切り、各チーム2人の4チームで対戦します。試合は加点方式で、ミスをしたチームに加点され、いずれかのチームが5点に達したら1セット終了です。3セットマッチで合計点が少ないチームが勝ちとなります。



☎ スポーツ振興課 国体準備室（☎37-3113）

入札制度説明会

公正な入札制度のために

雲仙市入札制度説明会を、3月26日に吾妻町ふるさと会館で行い、128社が参加しました。

説明会では、平成22年度から適用する入札制度の改定内容について説明があり、昨年11月に続き本年度2回目です。

改定する主な内容は、制限付一般競争入札の拡大、指名競争入札における設計図書などの入手方法の変更、等級別格付認定条件や発注基準の一部改正、入札回数の変更などです。

市では、今後も公正で透明性の高い入札・契約制度となるよう入札制度改革を進めていきます。



熱心に説明を聞く参加者たち

平成21年度に7回の講座を行い、受講者15人が修了しました。

受講生からは、「自分が調味料をとりすぎていたことがわかった」「自分の家庭で食について振り返ることができた」「新しい仲間ができた」などの声がありました。

皆さんは、これから食生活改善推進員として、身近な人々の健康のために活躍されます。養成講座は本年度も実施する予定です。多くの参加をお待ちしています。



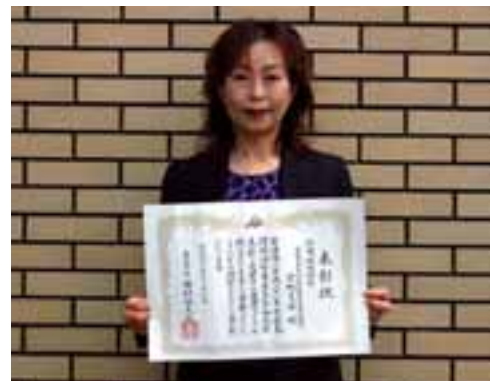
健康は食生活の改善から

健康はまず食事から

平成21年度 食生活改善推進員養成講座

雲仙市食生活改善推進員連絡協議会愛野支部が平成21年度栄養関係功労者の厚生労働大臣表彰を受けました。

同支部は平成2年に結成され、特に減塩のための「割醤油」の普及、カルシウム摂取アップのための料理の開発と普及に努めています。また、行政と一体となって住民の健康保持増進に貢献した点が認められ、受賞となりました。



表彰状を手にする同支部長の山口陽子さん

食改愛野支部

厚生労働大臣表彰受賞

厚生労働大臣表彰

アイドリング・ストップステッカーデザイン表彰式

広めようアイドリング・ストップ

「アイドリング・ストップ」を地球温暖化防止対策の市民運動として広めていくことを目的に、雲仙市アイドリング・ストップステッカーデザインを募集していましたが、このほど最優秀賞1人、優秀賞4人が決定しました。

授賞式は3月12日に行われ、受賞者には市長から表彰状が授与されました。

◆最優秀賞 川口 大樹さん

◆優秀賞 立山 和美さん、中島 汐理さん
本多 秀成さん、前田 宏美さん



左から川口さん、中島さん、奥村市長、本多さん、前田さん



Eキャンレジットプログラム

環境ワークブックが完成

長崎大学などと連携した環境事業「Eキャンレジットプログラム」による、小学生向けの環境ワークブック『ごみとわたしたちの暮らし』が完成し、3月19日にこの事業に関わる同大学環境科学部の深見聡准教授が市長に報告しました。

このワークブックでは、雲仙市のごみの分け方と出し方、ごみを減らす市の取り組みなどをはじめ、無駄なものを買わない、買い物のときにエコバッグを持参するなど「ごみをなくす10か条の誓い」を市特産のじゃがいもとレタスをキャラクターにした「男しゃく」と「サニー」がとても分かりやすく紹介しています。

このワークブックは、4月から市内の小学校で環境教育教材として活用されています。



深見准教授（右）からワークブックが手渡されました

合併特例法に基づき旧7町ごとに組織された地域審議会は、合併で行政区域が拡大されることにより、市民の声が行政に届きにくくなることのないよう、各地域ごとに設置された市長の諮問機関です。

審議会では、平成20年度から平成21年度にかけて、各地域の課題などについて協議を重ね、農水産業の振興や観光振興、企業誘致による雇用創出や道路の整備促進など、その解決策をまとめた『提言書』を市長へ提出しました。

市では、これら提言を地域の意見として尊重し、新規事業の創設や既存施策の拡充など、市全域の均衡ある発展を目指し、様々な分野でさらなる地域振興に努めます。

※各地域の提言書は、市ホームページでご覧いただけます。



同審議会では、今後も検討・協議が進められます

提言を尊重し、まちづくりを進めます

地域審議会提言書提出

ふるさと納税

たくさんのご寄附 ありがとうございます

3月中に寄付をいただいた皆さま（承諾していただいた項目のみ掲載）

氏名(敬称略)	住 所	出身町	金額
平野 康博	埼玉県	南串山町	—

平成21年度の合計（3月末現在）

件 数	38件
合計金額	1,713,000円

ふるさと雲仙市の応援団を募集しています

「雲仙市を応援したい」「雲仙市のために何かしたい」という想いを、ふるさと納税（寄付金）という形でお寄せいただいています。

このような想いを持たれた市外在住のご子息、ご令嬢、兄弟、姉妹、親族、友人、知人をご紹介ください。

問い合わせ・申し込み

政策企画課 地域振興班（ふるさと応援寄付担当）
☎38-3111 FAX38-3514
ホームページ <http://www.city.unzen.nagasaki.jp>

空き店舗を活用して、 商店街を活性化してみませんか

商店街活性化推進事業

市では、空き店舗の活用による商店街の活性化を図るため、新たに次の事業に取り組み個人や法人、その他団体に対し、商店街活性化推進事業補助金を交付します。

対象となる事業内容など

対象事業名	空き店舗活用事業	にぎわい創出事業
事業内容	新規出店者が商店街の空き店舗を活用して実施する次の事業で、2年以上継続して営業が見込まれるもの。 ○小売業、飲食業およびサービス業 ○ギャラリー、イベント会場および地域住民交流のためのコミュニティ施設などの商店街の集客やイメージアップに有効で、まちづくりに寄与すると認められる事業	商店街の集客やイメージアップに有効で、まちづくりに寄与すると認められるイベントで、次の空き店舗などで2年以上継続して実施が見込まれるもの。 ○ギャラリー、イベント会場および地域住民交流のためのコミュニティ施設などに活用される空き店舗 ○上記の空き店舗が所在する商店街
対象経費	①空き店舗の賃借料 ②空き店舗の改修などに要する経費	イベントの実施に要する経費
補助金額など	①賃借料の1/2以内 【補助限度額】 月額10万円 【補助期間】 小売業など…1年間 ギャラリーなど…3年間 (3年目は1/3以内) ②改修などに要する経費の2/3以内 【補助限度額】 200万円	対象経費の1/2以内 【補助限度額】 30万円 (1年に1回まで) 【補助期間】 通算、3回 (3回目は1/3以内)



融資対象者を拡大し、融資限度額も増額

雲仙市中小企業振興資金

市では、中小企業の経営の安定や振興発展のため、事業資金を必要とする中小企業者の皆さまを対象に低利の融資制度を準備しています。

今回、融資対象者の範囲の拡大や融資限度額の増額等の改正を行い、次のとおりとしました。

融資対象者

①市内に住所または主たる事業所（法人にあつては登記簿上の本店所在地）を有し、引き続き1年以上同一事業

融資対象者

①市内に住所または主たる事業所（法人にあつては登記簿上の本店所在地）を有し、引き続き1年以上同一事業

担保・保証人

長崎県信用保証協会および取扱金融機関が定めるところによる

保証料率

長崎県信用保証協会が定める率（年0・45～1・90％）

資金使用

設備資金、運転資金

融資限度額

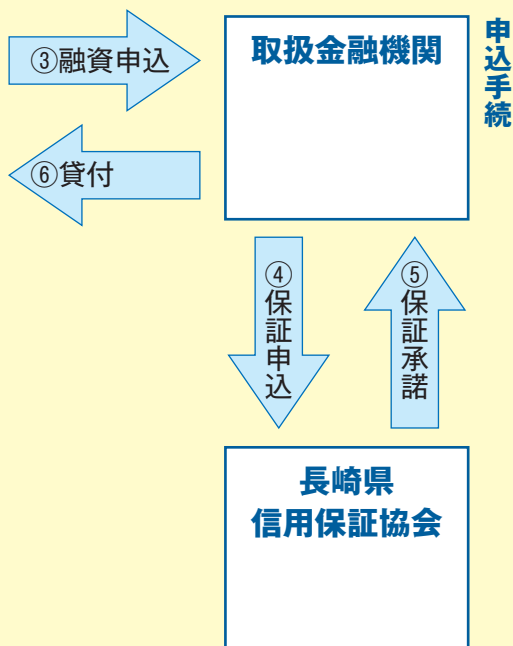
500万円

金利

年1・90％

償還期間

設備資金：10年以内
運転資金：7年以内



こんまちは、好きやけん。

雲仙じげもん便り

毎月、雲仙市内のいろいろな分野で活躍している市民の皆さんを紹介しています。
今回は、観光や物産の分野で活躍されている個人・団体を紹介します。それぞれ、観光の振興や市内産物のPRなどのため、日々努力を重ねられています。

新しい時代のスイーツを作りたい

「子どものころから、親父の背中を見て、この世界に入った。でも、お菓子作りが楽しくなったのは、30歳ぐらいやろか」とおっしゃるのは、生まれ育った南串山でスイーツ店を営む大村さん。甘い香りが漂う店内には、この店の代名詞ともいえる「雲仙じゃがブラン」や季節限定の「いちごのか



大村 慎剛さん(南串山町)
パティスリー オオムラ

「子ども」など、おいしそうなスイーツがずらり。そして、「来てもらったお客さまに、申し訳なかけん」と、お店は元日を除き、ほぼ毎日開店しています。「体力勝負ですよ」とおっしゃるその体と精神は、極真空手で鍛えられたものとのこと。

そんな忙しい毎日の中、「雲仙市産品を使った、おい

しくて、喜ばれる、新しいスイーツを作りたいって、いつも考えてる。風呂場や布団の中でひらめくこともあるよ。そして、やっぱり、自分だけにしかできない、オンラインワンのスイーツじゃないと……」その思いが形となったものの一つが「雲仙じゃがブラン」。南串山のおいしい馬鈴薯を使ったスイーツを作りたいと、7年かかって商品化し、今ではすっかり人気商品に。やっと、地元にし返し、今ではすっかり人気商品に。やっと、地元にし返し、今ではすっかり人気商品に。やっと、地元にし返し、今ではすっかり人気商品に。

* * * * *

平成18年7月に発足し、新しい雲仙市の観光の形を目指し、活動を続けている雲仙市観光協議会。事務局長として忙しい日々を送る山口さんにお話を伺いました。「協議会の一番の役割は、地域間や異業種間をつなぐためのコーディネートだと思いますよ。裏方の仕事です」とおっしゃる山口さん。観光という枠組みが広がりをみせる中、地域や業種、一次・二次・三次産業といった枠を越えた連携や交流の重要性を特に感じられているとのこと。

「従来の観光地だけではなく、それ以外の地域も含めた雲仙市全体として、その歴史や文化、風俗、風習をなるべく多くの人に知ってもらいたい。日本全国はもちろん、世界中に雲仙市の名前が轟くように。そのためにはまず、市民の皆さんに、市内のことを知って欲しい」と、その視線の先にある目標は大きい。「地域の皆さんから『ありがとう』って言われたときが、一番嬉しかったです。市民一人一人が雲仙市のPRをできるようなことが一番だと思います。そう語りながら、次の仕掛けのためのアイデアを練っていると笑顔で教えてくれました。



雲仙市観光協議会

事務局長 山口 信人さん

**雲仙市の魅力を
日本全国にとどまらず
全世界に発信していきたい**



雲仙市観光ガイド協会

雲仙市に観光ガイドを根付かせたい

雲仙市観光ガイド協会は、国のふるさと雇用再生特別基金事業を受けて、昨年発足し、今年度から本格的に始動する団体。職員の森谷和壽さん(写真中央)にお話を伺いました。

「まだ、本当に始まったばかりなので、現在活動中の各ガイド団体の皆さんと協力しながら、市内にガイド組織を確立させていきたい」とおっしゃられる森谷さん

自身も、協会に入るまでは、観光ガイドというものには、あまり馴染みがなかったとのこと。「雲仙市に求められる観光客の皆さんに、おもてなしの心でガイドすることによって、来て良かったと思ってもらえれば。もちろん、ガイドをする人にとっても、やりがいや喜びが必要。そのための受け皿になればいいですね。海外などでは、職業として成り立っている観光ガイドが多い中、国内では、ボランティアやそれに近い状態の観光ガイドがほとんどだという。

「自分たちだけで、いろんなところを見てまわるのもいいけど、ガイドを受けながらだと、一味違った観光になりますよ。知識を得たり、目で見えない部分を補足してもらったりすることで、新しい発見があるはずですよ。観光ガイドを根付かせることで、今までにない魅力を引き出していききたいですね」。どんな形の観光ガイドが誕生するのか楽しみです。

品質管理が第一 安心で安全なかまぼこを 食卓にお届けする

清水 可笑子さん(吾妻町)

長崎清水



「かまぼこを贈り物にすると、とても喜ばれるんですよ。そのままつまんでお酒のお供に、料理にも手軽に使えます。体にもいいし、健康的です」。吾妻町で60年以上続く、老舗のかまぼこ屋「長崎清水」常務の清水さんにお話を伺いました。

国道沿いにある店舗と隣接する工場では、40人ほどの従業員の皆さんが働いていて、そのほとんどが地元の人とのこと。清水さんによれば、「ほんとに頑張ってもらっています。この前も、いくつかのチームに分かれて、五月節句用のかまぼこの営業に回ったんですよ」と、

自慢の従業員のようですよ。一番の苦労を伺うと、「品質管理には特に気をつけてますね。専門の部署があつて、厳重にチェックしてます」とのこと。徹底した品質管理の下で作られた商品が、全国に出荷されています。

「最近では、子どもたちが魚を食べる機会が減っていると聞きますが、魚から作られるかまぼこは、栄養満点で手軽に食べられる。いろんな料理にも使えるから、ぜひ普段の食卓に上げてもらいたい。そのためには、安全で安心なかまぼこ作りを続けたいとね」心強い言葉をいただきました。

担当者からも一言



観光物産
まちづくり推進課
木村 新悟 主事

雲仙市には、多くの観光資源があります。景色・温泉・施設・フード・イベント etc.:。今年2月に完成した「ほつとふつと105」(日本一の足湯)もその一つです。皆さんが思い浮かべた資源を、県内はもとより日本全国、海外へとPRしていくことが私たちの仕事です。

皆さんが気づいていない資源もまだまだあります。「雲仙市だけの特産物を作りたい」、「雲仙市にあるいいものをみなさんに伝えたい」など市内で頑張られている人を中心に積極的にお知らせをして、PRする(光を観せる)ことを行っていく、皆さんと一緒に観光を盛り上げていきたいと考えています。

○先月号で紹介した「地域自立活動創出補助金」の担当部署が、政策企画課から市民窓口課へ変更となりましたので、お知らせします。

“倒産・解雇などによる離職”や“雇止めなどによる離職” となった人(65歳未満)の国民健康保険税を軽減します。

平成22年度から、要件を満たす非自発的失業者については、失業時からその翌年度末までの間、国民健康保険税の基となる前年給与所得を、実際の額の30%として税額を算出します。

対象となるのは…

65歳未満の人で、離職の翌日から翌年度末までの期間において、
①雇用保険の特定受給資格者(例：倒産や解雇などにより離職した人)、または
②雇用保険の特定理由離職者(例：雇止めなどにより離職した人)
として、失業等給付を受けている人です。



離職理由欄に、下記の番号が記載されている場合、軽減対象となります。

- ①特定受給資格者
11、12、21、22、31
- ②特定理由離職者
23、33、34

制度が始まる前に失業した場合は、どうなりますか？

制度が始まる前の1年以内(平成21年3月31日以降)に離職し、要件を満たす場合は、**平成22年度に限り、国民健康保険税が軽減されます。**

ただし、平成21年度の国民健康保険税は、軽減の対象となりません。

軽減を受けるには、申告が必要です。

手続きの場所

市役所 市民窓口課 国保年金班 または 各総合支所 市民生活課

持参するもの

- 雇用保険受給資格者証
- 国民健康保険証
- 印かん

問い合わせ

税務課 総務国保税班 または、
市民窓口課 国保年金班
(☎38-3111)

3月20日、環境科学部主催で「地球環境国際フォーラム in ながさき・COP15と低炭素社会」を開きました。

COP15とは昨年12月にデンマークの首都・コペンハーゲンでおこなわれた、「第15回気候変動枠組条約締結国会議」の略称です。地球規模で対応が求められている気候変動の課題は、私たちには一見無縁のような印象かもしれませんが、しかし、今年の「寒い」春は、例年とは少し変だな?と思った人も多いのではないのでしょうか。また、生物の生息域の変化や、海面の上昇といった影響は、次世

Eキャンレッズ 通信 Vol.14

長崎大学環境科学部
環境教育研究
マネジメントセンター
准教授 深見 聡

代には深刻な現象としてみられることが研究者により指摘されています。

このように、グローバル(国際的)な課題が、実はローカルな現象の蓄積として起ることを、私たちは知る必要があります。そのような機会になることを意図したフォーラムには、荒天にも関わらず、120人を超える聴衆を迎えることができました。

本学部の菊池英弘教授が講演やパネルディスカッションの進行役を担いました。菊池教授は、昨年本学に着任するまで、環境省広報室長を務めていました。私は今後「広報」という役割が、環境科学部にはもっと大切になってくると感じています。一見難解そうながらでも、それを伝えよう、理解しようという学びの機会が、環境問題を語る時にはとりわけ重要だと感じる一日となりました。

困ったときは…

雲仙市消費生活センター
からのお知らせ

早めに、ご相談を。

ライフサポートホットライン

(消費生活センター直通電話) なや みゼロ

☎ 0957-38-7830



4月1日、雲仙市消費生活センターを設置

まわりの人たちの見守りが、高齢者の消費者トラブルを防ぎます

「私はだまされたことがない」と言う人も、話をしていると高額な契約をさせられている場合があります。悪質業者は優しく近寄って

気づきにくい

【特徴1】だまされたことに

高齢者のトラブルには次のような特徴があります。



ことが必要です。

このような消費者トラブルをくい止めるには、高齢者本人が問題意識を高めるとともに、家族やまわりの人たちが日ごろから高齢者の様子を気にかけて、地域の諸機関と連携して、見守ることが必要です。

全国の消費生活センターには、毎日、高齢者を狙った消費者トラブルが数多く寄せられています。その数は年々増加し、高額な被害の相談も相次いでいます。

きて、話し相手になつてくれます。高齢者は、まさか自分がだまされているとは思われないことが多いようです。【特徴2】被害にあつても誰にも相談しない

被害にあつたと自覚している人でも、誰にも相談しない場合が少なくありません。その理由は、「被害にあつたことが恥ずかしい」「迷惑をかけたくない」など。さらには、「だまされた方が悪い」と自らを責める人もいます。また、悪質業者の中には、不安をおったり、口止めするケースもあります。

気づきと対応のポイント

どのように対応したらいいか事例ごとに紹介します。見慣れない人物が出入りしていると、通報を受けて…

①本人に被害者意識がない場合、周囲の具体的な声かけで被害に気づくことがあります。

②本当に必要な買い物だったのか、本当に支払がでるのか、本人の意思を尊重しながら再考を勧めることも大切です。

③頻繁に業者が出入りしている場合、複数の業者から契約させられている可能性もありますので、特に注意が必要です。

催眠商法の被害にあつている場合…

①冷静になつて初めて失敗に気づきます。落胆の表情が見られる時は、やさしく声をかけてください。②楽しそうに出かける回数が増えた時には、定期的な業者のところへ出かけている可能性もあります。タイミングをみて声をかけてください。

③日常的な会話の中で、近所で起きたトラブル事例を紹介すると効果的です。日ごろから消費生活センターなどの情報に注意しておきましょう。

玄関先に大きなダンボール箱が…

①訪問した際、見慣れないダンボール箱や新しい商品を見かけた時には、話題にすると良いでしょう。②まとまった量の健康食品、未使用の医療用具など、普段見慣れないものが必

要以上にある場合、次々と物を購入させられている可能性があります。

お金に困っている様子が見られて…

①お金に困っている場合は、トラブルに巻き込まれていく可能性があります。②いくつもの業者から借金を重ねて多重債務に陥っている可能性もあります。金融会社からのダイレクトメールや請求書などにも気を配ってください。

③日常の金銭管理が不安になつてきた場合は、地域福祉権利擁護事業などを利用する方法もあります。

無料司法書士相談会

主催：雲仙市、長崎県青年司法書士協議会

司法書士による無料相談会を行います。相談は無料で、秘密は固く守られます。お気軽にご相談ください。(予約不要)

日時 5月29日(土) 午前10時～午後3時
場所 愛野町公民館

問 市民安全課 市民安全班(☎38-3111)

増えつづける医療費

56億9千万円

雲仙市国保の現状

問い合わせ

市民窓口課 国保年金班
☎38-3111

国保とは：

突然のけがや病気になり、多額の医療費がかかる場合があります。こうした時、国民健康保険（国保）に加入していると、安心して診療が受けられます。

国保は、加入者がお金を出し合い、助け合うことを目的とした制度です。

今月は、厳しい国保の財政状況や医療費抑制の取り組みをお知らせします。

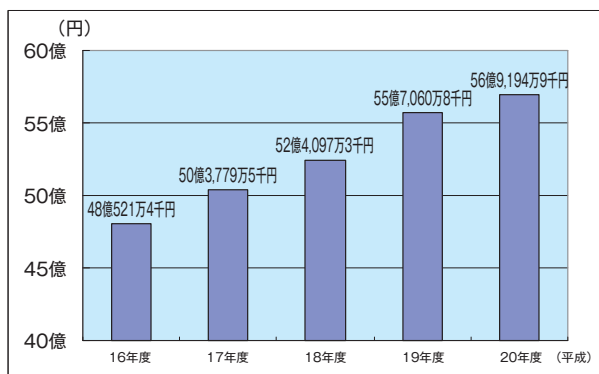
国保の現状

厳しい市の国民健康保険財政

国保の医療費は、被保険者数が年々減少する中、加入者の高齢化や医療技術の高度化、さらに、生活習慣病などにより、年々増大（表①）しています。

また、景気低迷に伴う所得の低下による国保税収入の減などもあり、国保の財政運営は、非常に厳しい状況になっています。

国保では、財政の健全化を図るため、特定健診の受診率向上などの医療費抑制対策や国保税の収納率の向上に努めています。増加する医療費の支払いに対する財源不足は危機的状況にあります。



高くなっています。（平成19年度実績）

残りわずかな財政調整基金

国民健康保険事業の安定した運営を維持していくために「国保財政調整基金」があります。

この基金は、雲仙市誕生時には、旧7町から持ち寄った金額が、約7億9千400万円ありました。

しかし、国保の財源不足のため、平成19年度、20年度、21年度に基金を取り崩してきており、平成21年度末では残りが約3億円となる見込みです。（表②）

さらに平成22年度当初予算に2億円を繰り入れており、とうとう約1億円を残すのみとなることが予想されます。

表を見てみると、歳入から歳出を差し引いた額は、各年度黒字になっていきます。しかし、歳入には前年度からの繰越金や財政調整基金からの繰入金も含まれていますので、その額を差

し引いた単年度の収支では赤字となっています。赤字は平成19年度以降年々増加しています。

	18年度	19年度	20年度	21年度見込
歳入	72億2,922万円	77億1,084万円	75億944万円	76億7,756万円
歳出	70億1,315万円	75億7,071万円	73億5,930万円	72億4,142万円
収支差引額①	2億1,607万円	1億4,013万円	1億5,014万円	4億3,614万円
単年度収支 （①－繰越金 －基金繰入金）	△1億7,585万円	△1億594万円	△1億5,122万円	△1億7,725万円
年度末基金残高	9億4,497万円	9億1,795万円	7億6,107万円	3億182万円

（表②）
単年度収支と基金の残高

医療費を抑えるために

特定健診や特定保健指導を受けましょう

医療費が増える要因の一つとされる生活習慣病の医療費を抑えるため、平成20年度から「特定健康診査(特定健診)」が始まりました。

特定健診では、病気の早期発見だけでなく、病気になる前に異常を発見したり、生活習慣病の前段階であるメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の状態にある人や予備群を見つけたりします。その結果を受け、生活習慣を改善するための「特定保健指導」を行います。

特定健診の受診率を上げて、税の増額を回避しましょう

特定健診の受診率の目標は、平成24年度までに65%を達成することです(平成20年度の実績は40・1%)。もし達成できなければ、国保から後期高齢者医療制度への支援金が増額されるこ

とになり、国保税の増額につながります。

その場合、平成20年度の後期高齢者支援金で試算すると、一人あたりの国保税が約4400円も上がることになります。

ぜひ受診しましょう。

その他の取り組み

市では医療費抑制対策として、次のような取り組みも行っています。

- 医療費通知のお知らせ
- レセプト点検
- ジェネリック医薬品の使用促進
- 重複、多受診者への訪問指導

国保財政の健全化に向けて

引き続きご協力を

市では財政健全化対策会議を設置し、国保財政の健全化の強化を図っています。そして、特定健診などの推進による医療費の抑制と財

源を賄うための国や県からの交付金などの確保、国保税の収納率向上など効率的な運営に努めていきます。加入者の皆さまも、けがや病気の予防など医療費の抑制や国保税の納付にご理解とご協力をお願いします。

平成22年度の健診

特定健康診査や健康診査が6月からスタートします

○受診券の送付

国保の特定健診と後期高齢者の健康診査の受診券は、5月中旬に郵送します。

○職場健診が特定健診に置き換わることがあります

職場健診の健診項目が特定健診の項目を満たしている場合、特定健診を受けたものとみなします。

特定健診対象者で、職場健診を受診したときは、市役所窓口へ受診結果のコピーの提出をお願いします。

健康診査に行きましょう

健診の種類とがん検診の内容、6月前半の健診予定をお知らせします。

【健診の種類】

- 特定健康診査(国保40～74歳)
- 健康診査(後期高齢者保険者)
- 若年者健診(20～39歳)
- 生活機能評価(65歳以上)

【がん検診の内容】

- 結核・肺がん検診
- 大腸がん検診
- 前立腺がん検診
- 胃がん検診
- 腹部エコー検査
- 喀痰検査
- 肝炎ウイルス検査

6月前半の集団健診(検診)予定

地区	実施日		会場
国見町	6月2日(水)	午後	神代研修センター
	6月3日(木)	午前	神代研修センター
	6月4日(金)	午前	農村環境改善センター
	6月5日(土)	午前	農村環境改善センター
	6月7日(月)	午後	農村環境改善センター
	6月8日(火)	午後	農村環境改善センター
	6月9日(水)	午後	馬場集落センター
受付時間	午前 … 午前8時30分～10時まで		
	午後 … 午後1時～2時30分まで		

※胃がん検診と腹部エコー検査は**午前**の日のみ行います。
※詳しくは、5月中旬に配布する健診のチラシをご覧ください。

雲仙市職員人事異動

4月に行われた市職員の人事異動をお知らせします。
() 内は前職です。

議会事務局

主事(国見総合支所主事) 前田雅廣

政策企画課

参事監兼課長「兼男女共同参画センター所長」(総務部次長兼財政課長) 岸川孝▽課長補佐「秘書調整班長」(子ども支援課課長補佐「子育て支援班長」) 大津善信▽課長補佐「地域振興班長」(同課課長補佐「企画調整班長」) 本多正剛▽広報班参事補「班長」(同課企画調整班参事補) 前田孝章▽秘書調整班参事補(福祉課高年齢福祉班参事補) 伊藤彰悟▽秘書調整班係長(同課秘書班係長) 吉田哲也▽主査(南串山総合支所主査) 酒井伸也▽主査(人事課付主査) 県地域振興部地域政策課派遣) 前田祥平▽主事(議会事務局主事) 松尾泰浩

観光物産まちづくり推進本部

参事監「島原半島ジオパーク推進連絡協議会勤務」(小浜総合支所参事監兼産業建設課長) 荒木強

観光物産まちづくり推進課

国民宿舎望洋荘担当課長兼支配人(同課参事兼国民宿舎望洋荘支配人) 川野浩三▽課長補佐(同課観光物産まちづくり推進班参事補「島原半島ジオパーク推進連絡協議会勤務」) 松尾純伯▽観光物産まちづくり推進班係長(千々石総合支所市民生活課主査) 西田公章▽主査(教育委員会事務局生涯学習課主査「国見駐在」) 松本勝也▽主査(同課主事) 三宅勝也▽主事(税務課主事) 木村新悟

総務部

部長(政策企画課参事監兼課長) 畑中隆久▽理事(長崎県) 本田哲士▽次長兼管財課長(監理課長) 野口孔明

人事課

課長補佐「行政班長」(財政課財政班参事補) 清水友秀▽参事補「人事給与班長」(教育委員会事務局総務課総務班参事補「班長」) 小松仁▽行政班参事補(同班係長) 富永隆▽係長(県環境部廃棄物対策課派遣) 主査(県後期高齢者医療広域連合派遣) 古賀正興▽主査(島原地域広域市町村圏組合派遣) (主事「同組合派遣」) 石田勝幸▽主事(県後期高齢者医療広域連合派遣) (商工労働課主事) 永田信也▽主事(島原地域広域市町村圏組合派遣) (観光物産まちづくり推進課主事) 川原博年

財政課

課長(同課課長補佐「財政班長」) 尾上美徳▽主査(人事課付主査「県央地域広域市町村圏組合派遣」) 森田貴裕▽主事(新規採用) 廣瀬夏海

管財課

課長補佐「契約班長」(小浜総合支所市民生活課課長補佐) 山本一也▽主事補(新規採用) 岩田久美

工事検査室

主査「検査班長」(同室主事「検査班長」) 木場俊郎

市民生活部

次長「高齢者窓口、国民健康保険担当」(同部次長兼市民窓口課長) 中

村美恵子▽参事監兼市民安全課長「兼消費生活センター所長」(同課課長) 岩永判二

市民窓口課

課長(南串山総合支所市民生活課長) 大山真一▽課長補佐「市民生活班長」(政策企画課課長補佐「地域振興班長」) 長田幸男▽戸籍班参事補(千々石総合支所市民生活課市民生活班参事補) 山中真寿美▽戸籍班参事補(同班係長) 草野三省▽市民生活班係長(環境政策課環境班係長) 小笹裕之▽国保年金班係長(同課主査) 林田貴子▽主査(同課主事) 佐藤都子▽主事(政策企画課主事) 馬場誠二

市民安全課

市民安全班係長「消費生活センター主任」(同班係長) 川井一幸▽市民安全班係長(同課主査) 林田幸一

税務課

課長補佐「市民税班」(市民税班参事補) 吉原和明▽課長補佐「固定資産税班」(南串山総合支所市民生活課課長補佐) 富永公明▽総務国保税班参事補(小浜総合支所市民生活課市民生活班参事補) 奥野宏道▽市民税班参事補(人事課行政班参事補「班長」) 酒井義幸

収納推進課

収納推進班参事補(国見総合支所市民生活課市民生活班参事補) 園田明美

健康づくり課

主査(子ども支援課主査) 井上智子▽主査(教育委員会事務局生涯学習課主査) 徳永真幸▽主事(同課主事

補) 喜多未来

環境政策課

課長補佐「廃棄物対策班長」(同課課長補佐「小浜クリーンセンター」) 宅島修▽廃棄物対策班参事補(同課環境班参事補) 吉田茂▽環境班係長(同班係長「小浜クリーンセンター」) 宅島正士▽主任(同課環境班主任「小浜クリーンセンター」) 益田康夫▽主任(同課環境班主任「小浜クリーンセンター」) 松浦基寛

市民福祉部

参事監兼子ども支援課長「兼子育てサポートセンター所長」(同部参事監兼同課課長) 村上謙郎

福祉課

高齢者福祉班参事補(政策企画課広報班参事補「班長」) 牛嶋幸也▽主事補(新規採用) 小田曉久

子ども支援課

参事「子育てサポートセンター主任」(同課参事「子ども健康班長」) 宮川チエ子▽課長補佐「子ども健康班」(人事課課長補佐「人事給与班長」) 尾崎輝孝▽課長補佐「子育て支援班長」(管財課課長補佐「契約班長」) 東裕実▽子ども健康班参事補(同班係長) 釣川真由美▽子ども支援班参事補(同課主査) 川原隆宏▽子ども健康班係長(同課主査) 井上真紀▽主査(収納推進課主査) 藤井理香▽主査(健康づくり課主査) 松下竜佐

保護課

課長補佐(保護班参事補) 藤田年文▽主査(健康づくり課主査) 福島一貴

農林水産部

次長兼農漁村整備課長(千々石総合

支所市民生活課長) 木戸庁一

農林水産課

課長(千々石総合支所産業建設課長) 秋山勝也▽課長補佐「農業班長」(市民窓口課市民生活班参事補「班長」) 高原義信▽課長補佐「農業班」(同班参事補) 谷川裕行▽林務水産班参事補「班長」(教育委員会事務局学校教育課学事班参事補「班長」) 渡部義孝▽農業班係長(財政課財政班係長) 草野秀博▽畜産班係長(管財課財産管理班係長) 梶山秀信▽主査(同課主事) 松尾裕樹▽主事(新規採用) 益田琢磨

農漁村整備課

課長補佐「整備維持班」(道路河川課課長補佐「道路班長」) 野口芳夫▽主査(監理課主査) 鯨津一哉▽主事(用地課主事) 小川賢一郎

商工労働課

主事(税務課主事) 相川貴志▽主事(観光物産まちづくり推進課主事) 松田祐哉

建設整備部

理事(国土交通省九州地方整備局) 福山龍一▽次長「施工調整担当」(同部参事監兼用地課長) 庄崎信生

監理課

課長(教育委員会事務局スポーツ振興課長) 山本松一▽主査(同課主事) 井上真▽主事(人事課付主事「県地域振興部市町振興課派遣」) 黒田大

道路河川課

参事「道路班長」(水道課参事「給水班長」) 角田稔▽課長補佐「河川砂防班長」(河川砂防班参事補「班長」) 松山修三▽道路班係長(千々石総合支所産業建設課産業建設班係

新規採用職員紹介



ひろせなつみ
財政課 廣瀬夏海

「財政課初的女性職員として、新たな視点から市民の皆様の暮らしに貢献していきたいと思ひます。よろしくお願いいたします」



いわたくみ
管財課 岩田久美

「まだまだわからないことが多いですが、これから市民の皆様のためにお役に立てるよう頑張っていきたいと思ひますので、よろしくお願いいたします。」



ますだたくま
農林水産課 益田琢磨

「何もかもがはじめてで戸惑うこともあります。雲仙市のまちづくりのために全力で取り組んでいきます。よろしくお願いいたします。」



おだあきひさ
福祉課 小田暁久

「生活の質を維持、向上させるために全力で取り組んでいきます。よろしくお願いいたします。」

長) 北川貴房▽道路係長(同課主査) 松竹隆範

用地課

課長(管財課長) 松本幸雄▽課長補佐「用地班」(小浜総合支所産業建設課課長補佐) 山下金光▽用地班係長(福祉課市民福祉係長) 三浦邦宏

水道課

課長(農林水産課長) 池田信介▽課長補佐「給水班長」(国見総合支所産業建設課課長補佐) 本田和久▽水道管理班係長(財政課財政班係長) 鶴殿光輝▽給水班係長(同課主査) 林田隆俊▽主査(教育委員会事務局スポーツ振興課主査) 原田誠二

下水道課

課長補佐「下水道工務班長」(農林水産課課長補佐「農業班長」) 江口秀司▽課長補佐「下水道工務班」(同班参事補) 荒木正

会計課

収入班係長(同課主査) 宗塚康之

国見総合支所

支所長兼産業建設課長(教育委員会事務局生涯学習課長) 川鍋嘉則

市民生活課

市民生活班参事補(市民窓口課戸籍

班参事補) 小川孝子▽主査(教育委員会事務局生涯学習課主査「小浜駐在」) 寺田勝也

産業建設課

主査(商工労働課主査) 村木幸太郎

瑞穂総合支所

支所長兼産業建設課長(同支所産業建設課長) 小田雅男

市民生活課

課長(同課参事「市民生活班長」) 横田弘範▽課長補佐「市民生活班長」(農林水産課課長補佐「林務水産班長」) 小島秀勝▽課長補佐「市民生活班」(市民生活班参事補) 松尾良次

産業建設課

主査(農林水産課主査) 宮本忠房

愛野総合支所

支所長兼産業建設課長(建設整備部次長兼水道課長) 吉田秀信

市民生活課

主査(同課主事) 荻塚晃▽主査(同課主事) 横田俊介

千々石総合支所

支所長兼産業建設課長(瑞穂総合支所長) 永木徳敏

市民生活課

課長(愛野総合支所産業建設課長) 城井仁▽主査(子ども支援課主査) 山下梨沙▽主事(人事課付主事「島原地域広域市町村圏組合派遣」) 篠田純市

産業建設課

主事(下水道課主事) 本岡勇樹

小浜総合支所

支所長兼産業建設課長(同支所長) 宅島辰明

市民生活課

市民生活班参事補(観光物産まちづくり推進課「国民宿舎望洋荘主任」) 関美佐子▽主査(農林水産課主査) 荒木雅美▽主事(主事「県環境部環境政策課派遣」) 川原信二

産業建設課

主査(農漁村整備課主査) 中田博喜

南串山総合支所

支所長兼産業建設課長(同支所長) 井上洋一▽参事監業市民生活課長(同支所参事監業産業建設課長) 木村一徳

市民生活課

▽主査(観光物産まちづくり推進課主査) 村上宏江▽主査(税務課主査) 大石美里

産業建設課

産業建設班係長(政策企画課地域振興班係長) 内田正和

教育委員会事務局

総務課

総務班参事補「班長」(政策企画課秘書班係長「班長」) 増田孝宏▽主事(南串山総合支所産業建設課主事) 山口留美

学校教育課

参事「学事班長」(環境政策課参事「環境班小浜クリーンセンター所長」) 野田雅昭▽主幹指導主事「教育指導班」(主任指導主事「同班」) 寺田三千裕▽主任指導主事「教育指導班」(県教育委員会「草野勝文」教育指導班指導主事「同課学事班指導主事」) 黒岩洋史▽大塚小学校主任(同課千々石第一小学校主任) 関君子

生涯学習課

課長(国見総合支所産業建設課長) 吉川俊弘▽参事「生涯学習班小浜駐在」(農漁村整備課参事「整備維持班」) 大石康英▽生涯学習班参事補「南串山駐在」(小浜総合支所市民生活課市民生活班参事補) 和田カヅヨ▽主査「国見駐在」(瑞穂総合支所市民生活課主査) 内田利広▽主査(同

課主事) 大石真伸▽主事(水道課主事) 富永康史

スポーツ振興課

課長(農漁村整備課長) 松尾十七治▽スポーツ振興班参事補(観光物産まちづくり推進課参事補) 堀田一樹

農業委員会事務局

参事「農地班長」(同事務局課長補佐「同班長」) 岡田政光

再任用

人事課付参事監「雲仙・南島原保健組合派遣」 臼井巧

退職「平成22年3月31日付」

(国見総合支所長 中山敏▽愛野総合支所長 朝永秀人▽千々石総合支所長 福島悟▽人事課付参事監「雲仙・南島原保健組合派遣」) 臼井巧▽「瑞穂総合支所市民生活課長」西尾静志▽用地課参事 松本勝盛▽環境政策課参事補「小浜クリーンセンター」酒井康宏▽教育委員会事務局生涯学習課主査「南串山駐在」三宅正明▽観光物産まちづくり推進課「国民宿舎望洋荘主任」本多貴美恵▽子ども支援課「土黒保育所主任」前田文子▽県教育委員会「教育委員会事務局学校教育課主任指導主事「教育指導班」村田茂則▽県へ(環境政策課環境班係長 赤澤貴光

まちの話題

My Town Topics

100 市内の4人に100歳のお祝い 回目のハッピーバースデー♪



↑ 織田さんを囲んでみんなで祝福

なんと4月には4人もの人が100歳を迎えられました。

1日には、織田ミヨシさん（国見町）、2日に吉田ハルミさん（国見町）、9日に山本マツヨさん（愛野町）、12日に疋田フミヨさん（千々石町）でした。

皆さんは、市長や町田副市長からのお祝いのことばや花束などを、元気で素敵な笑顔で受け取られ喜ばれていました。

これからも健康で長生きされ、ご家族と幸せにお過ごしください。

※写真は、承諾をいただいた人のみ掲載しています。



↑ 山本さんとても嬉しそうです



↑ ご家族に囲まれてお元気な疋田さん（左から2人目）



↑ 透明のプラスチックでできた仕切り板です

島原更生保護女性会 仕切り板が寄贈されました

3月26日島原更生保護女性会（片山豊子会長）から、小浜町文化館図書室へ図書用の「仕切り板」が50枚寄贈されました。

同会は更生保護の心を広め、次代を担う青少年の健全な育成に努めるとともに、関係団体と連携しつつ、過ちに陥った人たちの更生のために活動されています。

ありがとうございました。

ナ ナイターバレーボールリーグ ニスチームワーク！

第5回吾妻カップナイターバレーボールリーグが、2月6日から3月6日の1カ月間にわたり、吾妻体育館で行われました。

市内各地から同級生や職場、自治会などで結成された17チームが参加し、寒さに負けない白熱した試合が行われました。

結果は次のとおりです。

【Aランク】

優勝 STREAK

準優勝 モンパチ！

3位 吾妻オールスターズ



↑ 表彰を受けるSTREAKチーム

【Bランク】

優勝

おおつか

準優勝

WORKS

3位

モンパチ？



↑ おおつかチーム

【Cランク】

優勝

コロッケ

準優勝

SK'S

3位

ラスト

チャンス⑦



↑ コロッケチーム

自 遊々の森「奥雲仙牧場の森」協定調印式 然に触れ遊んで学ぶ

3月19日、吾妻町ふるさと会館で遊々の森「奥雲仙牧場の森」協定書締結の調印式が行われました。

遊々の森とは、国有林の豊かな森林環境を子どもたちに開放して、体験活動や学習活動などを行う場として森林環境教育の推進に役立てることを目的としています。

今回、島原半島の奥雲仙に位置する、霊峰九千部岳の裾野に広がる田代原高原地帯の牧場の一角に、県内では初めて設定されました。

今後、大自然に囲まれた自然環境の中で、学校や家庭、各種グループなど、教育や体験に合わせて森林や緑の大切さを学び、地域資源の再発見ができることが期待されています。



↑ 協定後がっちりと握手を交わす関係者

春 愛のハタあげ大会 の空にゆ～らゆら

4月3日に愛野町で愛のハタあげ大会（愛のまち剣舞争保存会主催、大石初藤会長）が行われ、多くの愛好家や親子連れでにぎわいました。

この日はとてもいい天気でしたが、風は少なめ。参加者は「もちい〜っと、風の欲しかね」とつぶやきながらも、うまく風をつかまえて自慢のハタを大空高く泳がせました。



↑ 上手にハタを揚げる子どもたち

◎健康づくり課 ☎38-3111

◎子ども支援課 ☎36-2500



5月31日は、「世界禁煙デー」

世界保健機構（WHO）が制定した、禁煙を推進するための記念日

喫煙習慣の本質は… 「ニコチン依存症」

■ニコチン依存度を簡単に判定する方法に、FTND指数があります（下表）。

この指数が高い人ほどニコチン依存度が高く、禁煙の過程に生じる「タバコが吸いた
い」、「イライラ」、「集中できない」といった離脱症状が強く出やすいといわれています。



健康月間・健康週間のお知らせ
（毎月19日は、食育の日です）

あなたの依存度を
チェック！



質 問	回 答			
	0点	1点	2点	3点
1.起きてから、最初の1本を吸うまで何分ぐらい？	61分以上	31～60分	6～30分	5分以内
2.図書館や映画館など、喫煙を禁じられている場所で禁煙することが難しい？	いいえ	は い		
3.1日の時間帯の中で、一番喫煙をやめにくいのは？	その他	朝最初の1本		
4.1日に何本吸う？	10本以下	11～20本	21～30本	31本以上
5.1日の時間帯の中で、起きてから数時間以内に吸う本数が一番多い？	いいえ	は い		
6.ほとんど1日中、病気で寝ているときでも吸う？	いいえ	は い		
合 計				点

中程度以上の人は、禁煙補助薬を使って禁煙する方法があります。この方法では、禁煙の成功率が約2倍高まるといわれています。禁煙補助薬には、ニコチンガム、ニコチンパッチ、バレニクリン錠があり、禁煙後の離脱症状を抑え、禁煙を助けてくれます。詳しくは、医療機関や薬局薬店にご相談ください。



あなたのニコチン依存度
は、どうでしたか？

0点～2点

3点～6点

7点～10点

低 い

中程度

高 い

問 健康づくり課（☎38-3111）

食卓から健康を考える

ふるさとの

ちから

エタリ風味の焼きうどん

うんぜん健康レシピ

〈1人分の栄養価〉

エネルギー：214kcal、たんぱく質：5.7g、カルシウム：132mg、塩分：2.2g



材料（4人分）

エタリの塩辛 ……………2尾
長ねぎ ……………2本
生しいたけ ……………4枚
うどん玉（ゆで） ………3玉
しょうゆ ……………大さじ1
サラダ油 ……………適量

※エタリの塩辛は、発酵食品のため、火にかけると、身が溶け、そのままでは苦手な人にも食べやすくなります。

作り方

- ① エタリの塩辛を細かくつぶしておく。
- ② 長ねぎは、白い部分をみじん切りにし、青い部分を斜めの細切りにする。
- ③ 生しいたけを細切りにする。
- ④ うどん玉は熱湯でほぐして、水気を切っておく。
- ⑤ 熱したフライパンにサラダ油をひき、エタリの塩辛と長ねぎ（白い部分）を入れ、香りを油に移す。
- ⑥ 生しいたけを加え、軽く炒めてから、うどん玉をほぐしながら入れる。
- ⑦ 全体に火が通ったら、鍋はだからしょうゆを注ぎ入れ、からめたら、盛り付けてできあがり。

雲仙市食生活改善推進員連絡協議会南串山支部

5月

健康がいちばん！

乳幼児予防接種

事業名	対象者	実施日	受付時間	会 場
ポリオ	生後3カ月～90カ月未満	13日(木)	13:30～13:50	国見農村環境改善センター

☆日程を変更する場合があります。「22年度年間計画」を対象者へ送付しますので、確認をお願いします。

母子保健事業

事業名	地 区	対象者	日付	受付時間	会 場
赤ちゃん健康相談	小浜・南串山	(午前)1歳未満(H21年5月～12月生) (午後)H22年1月生	11日(火)	9:30～10:30 13:30～13:45	南串山保健福祉センター
	瑞穂・吾妻	(午前)1歳未満(H21年5月～12月生) (午後)H22年1月生	12日(水)	9:30～10:30 13:30～13:45	瑞穂町公民館
	愛野・千々石	(午前)1歳未満(H21年5月～12月生) (午後)H22年1月生	14日(金)	9:30～10:30 13:30～13:45	千々石保健センター
	国 見	(午前)1歳未満(H21年5月～12月生) (午後)H22年1月生	18日(火)	9:30～10:30 13:30～13:45	国見農村環境改善センター
	瑞穂・吾妻	(午前)1歳未満(H21年6月～H22年1月生) (午後)H22年2月生	6月1日(火)	9:30～10:30 13:30～13:45	吾妻保健センター
	愛野・千々石	(午前)1歳未満(H21年6月～H22年1月生) (午後)H22年2月生	6月3日(木)	9:30～10:30 13:30～13:45	愛野保健福祉センター
1歳6カ月児健康診査	愛野・千々石	H20年8月～9月生	20日(木)	13:00～13:15	愛野保健福祉センター
	瑞穂・吾妻	H20年8月～10月生	25日(火)	13:00～13:15	吾妻保健センター
	小浜・南串山	H20年8月～9月生	27日(木)	13:00～13:15	小浜老人福祉センター
	国 見	H20年8月～10月生	28日(金)	13:00～13:15	国見農村環境改善センター
2歳児親子歯科健康診査	小浜・南串山	H19年8月～10月生	19日(水)	13:00～13:15	小浜老人福祉センター
	愛野・千々石	H19年8月～10月生	26日(水)	13:00～13:15	千々石保健センター

☆赤ちゃん健康相談(午前)は自由参加です。

☆赤ちゃん健康相談(午後)、1歳6カ月児健康診査、2歳児親子歯科健康診査の対象者には子ども支援課から通知します。

愛の献血にご協力ください

あなたのちょっとしたやさしさで、救われる誰かがいます。
行きませんか？献血に。



あきらめずに毎回チャレンジを！

5月の実施予定

日付	地区	時 間	場 所
31日(月)	小浜	9:30～11:30	宅島建設(株)
		13:00～16:00	小浜総合支所

☆場所・時間などが変更になる場合もあります。

献血には行きたい！だけど……「薬を飲んでからできない……」「いつも比重が足りないから……」と、行くのをためらっている皆さん、「行けない」とあきらめる前に一度足を運んでみませんか？
規制の緩和などによって、薬を飲んでいても献血できる場合があります。

また、比重はその日の体調によっても変化するので、日によっては献血ができる場合もあります。

ですから、一度挑戦して献血ができなかった人もあきらめないでください。

福祉のまちづくり推進事業

福祉課

高齢者や障がいのある人が住宅を改修する時に助成します

在宅で生活している高齢者や障がいのある人の住宅を改修することにより、生活環境の改善と介護者の負担を軽減するための助成事業です。

対象となる主な工事

- 手すりの取付け
- 段差の解消
- 滑りの防止と移動の円滑化などのための床や通路面の材料の変更
- 引き戸などへの扉の取替え
- 洋式便器などへの便器の取替えなど

対象者

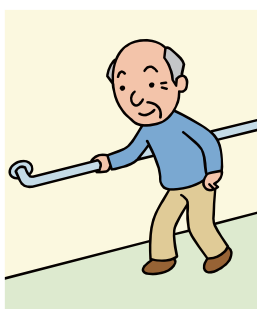
市内に住所を有し、当該世帯の生計中心者の前年の所得税課税年額が14万円以下の世帯で、次のいずれかに該当する人（4月1日改正）

- ①島原広域圏介護保険課の居宅介護住宅改修費や介護予防住宅改修費の保険給付を受けている65歳以上の人
- ②身体障害者手帳の交付を受けた65歳未満の身体障害者（児）であって、1級や2級に該当する人

助成額

住宅改修対象経費の3分の2を助成します。ただし助成額は40万円を限度とします。

（上記①の住宅改修費の保険給付を受けている人は22万円が限度額です。）



問 福祉課（☎36-2500）

雇用拡大を行う事業主を応援します

商工労政課

～雲仙市緊急雇用拡大奨励金支給事業～

地域の雇用創出のため、市内の事業所で市内在住者を新規に雇い入れ、雇用拡大を図った事業主に対し、奨励金を交付します。

支給要件

〈支給となる新規雇用者〉

- 市内在住者または雇用した後1カ月以内に住民登録を行った人
- 期間の定めのない雇用期間で、1週間の所定労働時間を30時間以上とする雇用契約を事業主と結び、雇用保険法第4条第1項に規定する雇用保険一般被保険者となる人
- 5月1日～平成23年4月30日までに雇用された人

〈対象となる事業主〉

- 市内で事業を営む人または事業所や営業所などがある法人と団体
- 対象となる新規雇用者を6カ月以上雇用するもの
- 市税を滞納していないもの

奨励金支給額

一人当たり30万円

※雇用対象者によって加算金があります。

申・問 商工労政課（☎38-3111）

島原半島森林(もり)のつどい

農林水産課

森林や緑の大切さを学び、緑豊かな故郷を守り育てましょう。

日時 5月30日（日）

場所 舞岳山荘（島原市有明町）

内容 植木の植栽、森林整備、木工教室

対象 どなたでも参加できます

申込期限 5月24日（月）

申・問 農林水産課（☎38-3111）

5月は緑の募金全国一斉強調月間です

農林水産課

「緑の募金」へ協力をお願いします

県下では、5月を「緑の募金活動期間」とし、募金運動を行っています。緑の羽根1本あたり100円です。

募金箱の設置場所

農林水産課と各総合支所に設置しています。

平成21年の集計結果をお知らせします。ご協力ありがとうございました。

区分		金額
家庭募金	国見町	294,300円
	瑞穂町	134,700円
	吾妻町	169,900円
	愛野町	110,000円
	千々石町	150,300円
	小浜町	262,800円
	南串山町	121,300円
職場募金		62,300円
その他		4,361円
合計		1,309,961円

21年度は、サクラの植樹に活用されました

緑の募金は、市や町が行う植樹・水資源などの整備や緑化活動を行う青少年活動などの支援に活用されています。

県緑化推進協会から市に交付され、市内の学校などの公共施設に植栽する花苗の購入費用に活用しています。

21年度は、「県民参加の森林づくり事業」として南串山町の谷間川地区保全活動組織による、サクラの植樹の支援金として活用されました。



▲サクラが咲くのが楽しみです

問 農林水産課（☎38-3111）

I 市からのお知らせ NFORMATION

手話奉仕員養成講座(入門過程)

福祉課

聴覚に障がいのある人への理解を深め、簡単な手話が理解でき、あいさつや自己紹介などの会話ができる程度の手話を習得することを目標とします。

日時

6月9日(水)～12月1日(水)
(祝日を除く毎週水曜日/全25回)
午後7時30分～9時30分

場所 愛野町公民館 大会議室

対象 成人(市外在住者也可)

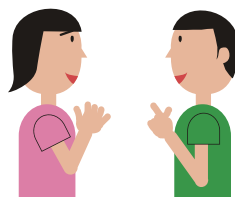
受講料 1,200円(テキスト代)

定員 30人(先着順)

申込期限 5月6日(木)～26日(水)

申込方法

住所・氏名・連絡先を電話かFAX
でお知らせください。



申・問 福祉課

(☎36-2500 FAX36-8900)

市有林の間伐材を売ります

農林水産課

国見町にある市有林の間伐材を希望者に売り払います。

対象者 市内に住所を有する人で、自分で搬出できる人。

※搬出などに関する一切の経費は購入者で負担し、購入者の責任のもと事故などに気をつけて、搬出してください。

搬出期間 平成22年4月から

場所 国見町神代山ノ上

(県道愛野島原線沿い)

間伐材の種類

スギ約500本、ヒノキ約500本

林齢 約44年生、直径約20～25cm

長さ 約4mの玉伐り

単価 スギ…1,000円/㎡

ヒノキ…2,000円/㎡、

※1㎡…直径25cm、長さ4mが約6本程度

問 農林水産課 (☎38-3111)

国見総合支所産業建設課

(☎78-2111)

歯科診療車が巡回してきます

福祉課

障がい者(児)巡回歯科診療

一般の歯科診療所での治療や通院が困難な障がい者(児)を対象に、巡回歯科診療を行います。

ただし、付き添い人の同伴を原則とし、会場までの送迎が必要です。



場所 県南保健所(島原市)

日時 6月～8月の毎週金曜日

(8月13日のみ除きます)

午前11時～午後3時30分

費用 保険診療となるため、自己負担があります。また、保険証などを持参してください。

申込締切 5月19日(水)

申込方法 福祉課、市民窓口課または各総合支所市民生活課に備え付けの申込書に必要事項を記入し、申し込んでください。

問 福祉課 (☎36-2500)

郵便などによる不在者投票制度の対象者が拡大されました

選挙管理委員会事務局

問 選挙管理委員会事務局 (☎38-3111)

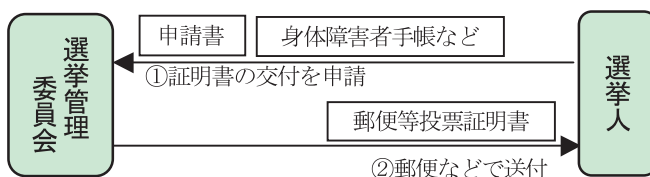
平成22年4月1日以降の選挙から拡大されました

拡大された対象者

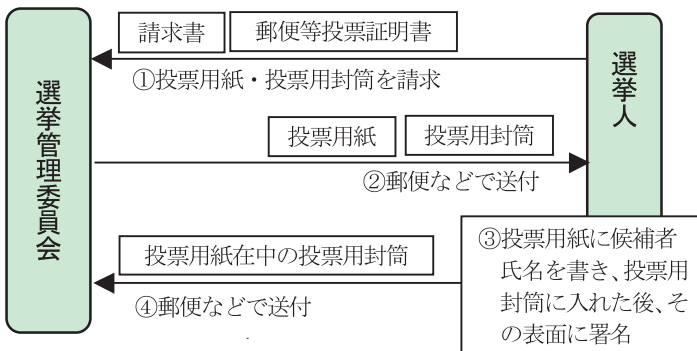
- ①身体障害者手帳を持つ人で肝臓の障害の程度が1級から3級までの人
- ②肝臓の障害の程度が①の障害の程度に該当することについて、県知事の証明を受けた人
- ③戦傷病者手帳を持つ人で肝臓の障害の程度が特別項症から第3項症までの人
- ④肝臓の障害の程度が③の障害の程度に該当することについて、県知事の証明を受けた人

※郵便などで不在者投票を行うためには、この制度を使って投票することができる選挙人であることを証明する「郵便等投票証明書」が必要です。必ず事前に申請を行ってください。

◆郵便等投票証明書の交付申請手続き



◆投票の手続き



問い合わせはこちらまで

雲仙市役所 ☎0957(38)3111
国見総合支所 ☎0957(78)2111
瑞穂総合支所 ☎0957(77)2111
愛野総合支所 ☎0957(36)2111
千々石総合支所 ☎0957(37)2001
小浜総合支所 ☎0957(74)2111
南串山総合支所 ☎0957(88)3111
雲仙出張所 ☎0957(73)3445
教育委員会 ☎0957(37)3113
国見駐在 ☎0957(78)1100
瑞穂駐在 ☎0957(77)2125
吾妻駐在 ☎0957(38)3108
愛野駐在 ☎0957(36)0616
小浜駐在 ☎0957(74)2111
南串山駐在 ☎0957(88)3114
福祉事務所 ☎0957(36)2500

市民公開講演会と パネルディスカッション

雲仙エコ、ケンコウ、カンコウ

10年後を見据えた「雲仙市の環境・健康・観光」をテーマにした講演会とパネルディスカッションです。皆さんの参加を待ちしています。

日時 5月8日(土)

午後1時30分～5時

場所 雲仙メモリアルホール

問 雲仙ロータリークラブ(雲仙観光協会内)

☎0957(73)3434

島原病院休診のお知らせ

島原病院では、病院情報システムの入替作業のため、5月31日(月)を臨時休診します。

なお、急患については、外来、入院ともに対応します。

問 長崎県島原病院

☎0957(63)1145



原爆健診を行います

被爆者健康診断は年に2回行っています。対象者にははがきで通知を行っていますので、ぜひ受診してください。

※肺がん検診と大腸がん検診、多発性骨髄腫の健診も同時に行っています。(希望者のみ)

対象者 被爆者健康手帳と第1種健康診断受診者証を持つ人

日時・場所

◆5月20日(木) 受付は午前10時～11時、午後1時～2時
千々石保健センター

◆5月21日(金)

受付は午後1時～2時
国見農村環境改善センター

問 県健康事業団 健診事業課

☎0957(43)7131

憲法週間(5月1日～7日)行事

◆無料法律相談所を開設します

開催日 5月7日(金)

【午前の部】午前10時～正午

【午後の部】午後1時～4時

気象警報や注意報が 市町単位で発表されます

雲仙市に災害発生のおそれがある場合、これまでは県全域を含む「長崎県」「南部」「島原半島」として警報・注意報を発表していましたが、5月27日(予定)からは、「雲仙市」と明示して発表します。

市町・地域ごとの詳細な内容は、長崎海洋気象台ホームページや国土交通省防災情報提供センターの携帯電話サイト(右のQRコードからどうぞ)などで確認できます。



※テレビやラジオなどで放送される場合は、制限内でより多くの情報を伝える必要があるため、これまでどおりの表現となる場合があります。

問 長崎海洋気象台業務課(☎095-811-4862)

※受付は午後3時40分まで
場所 メルカつきまち5階会議室
相談内容 金銭、土地、建物、労務、夫婦、親子、相続、登記、人権問題など

※1人あたりの相談時間は約20分
◆裁判所見学、公判傍聴

裁判所見学、公判傍聴、裁判員制度について説明します。希望する人は、電話で申し込んでください。(受付は憲法週間に限らず随時行っています。)

申・問 長崎地方裁判所事務局

総務課庶務係

☎095(804)4114

「少年平和と友情の翼」参加者募集

沖縄県での研修・交流活動を通して友情を深めたり、平和について学んだりします。

期間 【事前研修】7月11日(日)

【沖縄研修】7月26日(月)～28日(水)

【青少年ピースフォーラム】8月8日(日)・9日(月)

【平和学習発表会】8月26日(木)

応募対象 過去に参加したことのない県内在住の中学生で、右の各研修に参加できる人。

参加費 3万1000円

応募方法 往復はがきに①住所

②氏名、性別③学校名、学年、組④電話番号⑤保護者の氏名(押印)を書いて応募してください。

募集期限 6月3日(木)

申・問 〒852-8117

長崎市平野町7番8号

長崎原爆資料館内 長崎市原爆被爆対策部 被爆継承課

☎095(844)3913

一人でも多くの高校生に 応募の機会をお願いします

新規高等学校卒業予定者に対する応募・推薦に関する就職慣行について「平成22年度の応募・推薦方法は、応募・推薦開始日から10月14日まで一人一社制とし、10月15日以降は複数応募・推薦を可能とする」ことになりました。

一人でも多くの高校生が公平な応募の機会が得られるよう、ご理解とご協力をお願いします。

「就職承諾書(長崎県 高等学校統一用紙)」を ご使用ください

採用が決定し、内定者から就職承諾書を求める場合、会社には有利な条件の内定取消しや留保条件をつけることは好ましくありません。

就職承諾書を求める場合は、応募した際に提出する「就職承諾書(長崎県高等学校統一用紙)」の使用をお願いします。

問 長崎労働局職業安定課

☎095(801)0040

長崎県教育庁高校教育課

☎095(894)3354

「のんのこ温水センター」の指定管理者を募集します

施設概要

【所在地】 諫早市福田町1184
【施設の内容】 温水プール、浴場ほか

業務内容 施設の運営・管理など
指定の期間 平成23年4月1日
～平成28年3月31日

応募資格 県内に本社、支店または営業所などを有する法人
やその他の団体

募集要領などの配布期間

5月10日(月)～6月11日(金)

視覚障害者に対する生活訓練

【点字・指文字・ふれあい等訓練】

日・場所 5月11日(火) 小浜
老人福祉センター／19日(水)
南串山保健福祉センター

時間 午前10時～午後3時

【白杖訓練】

日時 5月26日(水)

午前10時～午後3時頃

場所 島鉄バス小浜ターミナル付近

※ほかに、パソコン教室を毎週

金曜日に実施しています。

※「広報うんぜん」のCD録

音版を視覚障がい者の皆さん

に無料で送付しています。希

望者へご連絡ください。

問 NPO法人 ふれあいステ

ーション事務局

☎0957(38)2734

※募集要領や仕様書などは、県

央県南広域環境組合ホーム

ページから入手できます。ま

た、組合の窓口でも配布しま

す。

申請書の受付 5月10日(月)

～6月11日(金)

問 同組合施設課

☎0957(35)8200

甲種・乙種

防火管理者資格取得講習会

日時 6月16日(水)、17日(木)

午前9時～午後4時30分

(甲種／2日間、乙種／16日のみ)

会場 小野ふれあい会館

(定員100人)

申込期間

5月17日(月)～6月9日(水)

申し込み先 雲仙市内の最寄り

の消防署(瑞穂町、国見町を

除く)

問 小浜消防署

☎0957(74)3231

平成22年度狩猟免許試験(新規)

試験種目 網猟免許、わな猟免

許、第1種銃猟免許、第2種

銃猟免許

受験資格 20歳以上の人

一次試験 知識試験(網・わな

は同日に二次試験まで行います)

日時 6月30日(水)

会場 諫早文化会館、島原振興局

二次試験 実技試験(銃)

日時 8月3日(火)

会場 諫早文化会館

申込期間

5月17日(月)～6月11日(金)

申・問

島原振興局農林水産部農業振興課

☎0957(62)3610

国家公務員中途採用者選考試験

受験資格 昭和45年4月2日～

昭和56年4月1日生まれの人

一次試験 9月5日(日)

受付期間 (5月10日配布開始)

6月22日(火)～29日(火)

受験案内などの請求方法

返信用封筒(角型2号・A4

版、140円分の切手貼付、あ

て先と「中途採用」明記)を同

封した封筒に、「中途採用請求」

と朱書きし、問い合わせ先へ送

付してください。

問 〒812-0013

福岡市博多区博多駅東2-11-1

人事院九州事務局第二課試験係

☎092(431)7733

島原地域広域市町村圏組合

介護保険課 嘱託職員募集

業務内容 介護認定の調査にか

かる業務全般

募集人員 1人

雇用期間 7月1日～平成23年

3月31日(更新あり)

勤務日 月曜日～金曜日(祝日、

年末年始の休日を除く)

勤務時間 午前8時30分～午後

5時15分

報酬 日額8000円(交通費

支給なし)

社会保険等 健康保険、厚生年

金、雇用保険

勤務場所 同課

応募資格 50歳以下の人(平成

22年4月1日現在)で次の要

件を満たしている者

・介護支援専門員の資格を有

し、ケアプラン作成と介護保

険の認定調査の実務経験があ

る人

・介護、医療、福祉関連の事業

所に勤務していない人

・基本的なパソコン(ワード、

エクセル)の操作ができる人

・普通自動車運転免許を有する人

応募期間

5月6日(木)～27日(木)

選考方法 書類審査・作文・面

接

応募方法 電話でお問合せのう

え、「履歴書」と「必要な資

格などを証明する書類の写

し」を郵送または持参してく

ださい。(当日消印有効)

※選考日時・場所など、詳しく

は後日通知します。

問 同課認定係

☎0957(61)9103

ご存知ですか?

雲仙市地域包括支援センター

地域で暮らす高齢者の総

合窓口として活動しています

「最近、足腰が弱ってきた」

「お金の管理はどうしよう?」

「元気なうちに健康づくりを

行っていきたいなあ」

お気軽にご相談ください。

問 同センター

☎0957(36)3571

すみれ会

(パーキンソン仲間集い)

定期的に、情報交換やり

ハビリ体操を行っています。

参加費は無料です。

日時 5月27日(木)

午後1時30分～3時

場所 雲仙市地域包括支援

センター(愛野町)

対象者 パーキンソン疾患

に関連する人とその家族

問 すみれ会

☎0957(77)2707

2本セットを5人にプレゼント!

この「雲仙茶」(新茶2本セット)を、ハガキをいただいた人の中から抽選で、5人にプレゼントします。

■ 応募方法 ■

〒859-1107 雲仙市吾妻町牛口名714番地
政策企画課 広報班
「読者プレゼント」係

■問い合わせ 政策企画課 広報班(☎38-3111)



■商品に関する問い合わせ

☎0957-77-2203(長田製茶)

※必要事項が未記入の場合には、プレゼント抽選の対象となりませんので、ご注意ください。

今回の応募総数は、**15**通でした。

(ヨシヨシ 57歳女性)

(S
48歳女性)



(N.
H.
36歳女性)

一日も早く回復されることを、心からお祈りします。

今月の税

- **固定資産税(1期)：5月31日(月)が納期限です**
あなたの税で あかるい ゆたかな 街づくり
- **自動車税(県税)：5月31日(月)が納期限です**
※自動車税は市役所と各総合支所では納めることができません。
お近くの金融機関やコンビニエンスストアをご利用ください。

今月の健康テレホンテーマ (長崎県保険医協会)

電話 095(826)5511

- **月**：誤嚥性肺炎
- **火**：治りにくい肩の痛み 一腱板断裂―
- **水**：おたふく風邪と難聴
- **木**：難聴のなり始め
- **金**：夢遊病
- **土・日**：早漏でお悩みの方へ

☆午前9時～翌朝9時までの24時間、同じ内容のテープが流れます

子育てサポートセンターからのお知らせ

千々石に移転しました

4月1日から、サポートセンター事務所が愛野町から千々石町へ移転しました。

子育てサポートセンターアドバイザーの金澤(左)と城代です。どうぞよろしくお願いします!!



《移 転 先》 〒854-0492
雲仙市千々石町戊582番地
雲仙市役所千々石庁舎 1階
市民福祉部子ども支援課内

《電話番号》 0957-36-2500
《FAX番号》 0957-36-8900
《Eメール》 kososapo@city.unzen.nagasaki.jp

子育てサロン「ひだまり」

【5月の開催予定】

☆日時

6日(木)、13日(木)、
19日(水)、27日(木)
午前10時～午後3時

☆場所

愛野保健福祉センター
2階多目的研修室

サロンの会場は
変わらないよ!



問 子育てサポートセンター (☎36-2500)

ひとのうごき (雲仙市の人口)

- **人 口**：49,045人 (前月比－202人)
男性：23,271人／女性：25,774人
- **世帯数**：16,618世帯 (前月比＋53世帯)
※平成22年3月末現在 (住民基本台帳)

休日在宅当番医

診療時間 午前9時～午後5時

日	医 療 機 関	電話番号	所在地
5月2日	愛野記念病院 公立新小浜病院	36-0015 74-2211	愛 野 町 小 浜 町
3日	愛野記念病院 公立新小浜病院	36-0015 74-2211	愛 野 町 小 浜 町
4日	愛野記念病院 公立新小浜病院	36-0015 74-2211	愛 野 町 小 浜 町
5日	愛野記念病院 公立新小浜病院	36-0015 74-2211	愛 野 町 小 浜 町
9日	梅津医院 馬場医院	78-5156 73-3666	国 見 町 小 浜 町
16日	本田医院 ひらゆ医院	78-2768 74-5833	国 見 町 小 浜 町
23日	佐藤医院 副島内科クリニック	78-5555 74-3700	国 見 町 小 浜 町
30日	太田整形外科 くさの循環器内科	78-5413 37-6050	国 見 町 千々石町
6月6日	松本内科医院 松島外科	65-3333 74-4388	国 見 町 小 浜 町

【歯科】診療時間 午前9時～正午

日	歯科医院名	電話番号	所在地
5月2日	宮崎歯科医院 立川歯科医院	62-1180 87-4547	島 原 市 南島原市
3日	いなだ歯科 山崎歯科医院	62-2901 87-3163	島 原 市 南島原市
4日	寺田歯科診療所 みわ歯科	62-4427 86-4452	島 原 市 南島原市
5日	みやざき歯科 田口歯科医院	62-7300 87-2263	島 原 市 南島原市
9日	馬場歯科医院 大岡歯科医院	88-3215 63-7616	南串山町 島 原 市
16日	広田歯科医院 大場歯科医院	88-3800 62-4579	南串山町 島 原 市
23日	萩尾歯科医院 みなと歯科医院	74-5100 63-1747	小 浜 町 島 原 市
30日	津田歯科医院 植木歯科医院	75-0281 62-3765	小 浜 町 島 原 市
6月6日	天野歯科 キタ忍歯科医院	37-2121 63-6711	千々石町 島 原 市

☆変更になる場合がありますので、電話連絡後、受診してください

子どもに関する
相談電話の
お知らせ

雲仙市教育委員会
「親子ホットライン」
0120-967947
(フリーダイヤル)
教育委員会学校教育課

雲仙市福祉事務所
「家庭ホットライン」
0120-928471
(フリーダイヤル)
家庭児童相談室

長崎県教育委員会
「いじめ相談ホットライン」
なやみ言おう
0570-078310
※PHS、IP電話からはつながりません
長崎県教育委員会

◆問い合わせ

男女共同参画センター(☎38-3111)

身近に感じて
男女共同参画第14話
『同窓会の案内…』家事に関わりのある
夫の場合…家事に関わりのない
夫の場合…

家事は、生活の中とても重要なことです。家族が一緒に生活していくためには、家事を協力しあうことが大切です。

しかし、多くの家庭では女性が、育児や介護、そして家事をしているのが現状です。

家事は、毎日するもので、

終わりの休みもありません。自分一人分の家事なら自分のペースでできますが、家族全員分となると、そうはいきません。そんな大変さもある家事ですが、男女が一緒に生活すると「家事は、女性がやって当たり前」という思いこみが、これまでは強くありました。

これからは、家事を女性だけの役割とせず、男性も関わっていくことが、まずは必要です。

あわせて、男性が仕事中心で働きづめという生活スタイルや意識を見直すことで、男性も女性も、仕事と生活のバランスがとれるようになってきます。

今回のマンガでは、家事に対する夫の理解がある場合とない場合を紹介しています。皆さんの家庭はどちらでしょうか。

一緒に暮らしている大切な家族が、お互いに楽しく過ごしていくために、協力しあえる家庭づくりを目指しましょう。

市長コラム
ちょっと一息…

6年間の成長が感じられる

▼4月7日、市内国見町の土黒小学校の入学式と小浜中学校の入学式に出席▼義務教育の入口と6年後の違いが、これほどはつきりと認識できたのは、同じ日に同様の式典に参加したからだろうか▼保育所や幼稚園からやってきた児童たちの集中力は、それほど続かない。短い時間で、校長先生や来賓のあいさつを終え、在校生たちとの交換や校歌の斉唱。最後は手をつないでの退場▼かたや中学校は、制服姿がまず成長を物語る。6年間の義務教育を終え、集団生活の中で、しなければならぬこと、してはいけないことの認識を持ち、自分たちの意思によって運命が変えられることの子感みたいなのを感じ始めている▼校長式辞も、歓迎の言葉から内面に踏み込んだ内容になって、時間が経ちながらも整然と傾聴している。子どもたちの6年間の成長には、目を見張ってしまった▼土黒小学校、小浜中学校両校の校歌も聴いた▼土黒小学校の校歌は、長い歴史を通じて変わることなく歌い継がれたのである。歌詞に時代の重みがあり、卒業生の来賓やPTAの皆さんも共通して歌ったという共有感が感じられる▼一方、小浜中学校は、戦後に創られた歌である。再興の願いと力強い歩みへの期待が込められている。「七百余」とのくだりがあるが、当時の生徒数であろう。今年の入学数が77人、少子化は顕著だ▼ここ数年、雲仙市の入学数は、小学校で1000人、中学校で60人が平均して減少している。

奥村 慎太郎